

# 消防試験研究センターだより vol.373

# Voice...7

2019



## top

危険物関係法令に関して危険物取扱者に期待される資質

## こだま

熊本県立小川工業高等学校「北辰となる人材の育成」

## 支部の広場

長野県支部からお届け



①



②



③



④



表紙によせて

### 竜王マウンテンパークSORA terrace / 表紙上段

山ノ内町北志賀高原の標高1,770mの急傾斜に建てられた雲の上のテラスからは、条件が合えば眼下に広がる一面の雲海を見渡すことができます。

夕方になると、同じ目線で北アルプスに沈む夕日が眺められるサンセットスポットに。雲海と夕日が織りなす幻想的な世界は、訪れた人にしか味わえない特別な空間です。(写真提供:長野県観光機構)

### 松本城 / 表紙下段

松本市にある松本城は戦国時代の永正年間に造られた深志城が始まりで、現存する五重六階の天守の中で日本最古の国宝の城です。天守を囲んで三重の水堀が巡っていて、黒と白のコントラストがアルプスの山々に映え、堀に姿を映す天守は絶景です。

(写真提供:松本城管理事務所)

### ① 上高地・穂高連峰 (松本市)

上高地はその美しい景観から「特別名勝」と「特別天然記念物」ふたつの称号を与えられた日本屈指の山岳景勝地です。上高地のあらゆる場所からその姿を望める穂高連峰は、アルピニストの憧れであり、上高地から見上げる峰々は威厳と風格が漂う名峰です。

### ② 佐久バルーンフェスティバル (佐久市)

ゴールデン・ウィークの風物詩として佐久に定着した27回目の熱気球大会は、熱気球グランプリの第2戦として国内外のトップレベルを集めた本格的な競技会です。また、「子供たちに感動を!」のコンセプトのもと、熱気球だけでなく地元密着の各種体験イベントも用意されています。

### ③ 岩松院・葛飾北斎の天井絵 (小布施町)

岩松院は文明4年(1472)に開山された曹洞宗のお寺で、本堂の大間には21畳敷の天井絵、葛飾北斎晩年の大作「大鳳凰図」があります。完成は嘉永元年(1848)、実際に舞っているかのような迫力で、八方睨みの鳳凰ともいわれその鋭い目はどこからみてもこちらを見据えます。

### ④ 天竜峡・天竜船下り (飯田市)

諏訪湖を水源とし伊那谷を貫いて太平洋に注ぐ天竜川の流域の中でも、両岸に聳え立つ大岸壁や奇岩により山水画を彷彿される奇勝絶景の天竜川随一の名勝地「天竜峡」。瀬を下ることに水しぶぎと歓声があがる爽快な船旅と大自然の渓谷の四季折々の風情を満喫する船旅が楽しめます。

002

## top

危険物関係法令に関して危険物取扱者に期待される資質

一般財団法人日本防火・危機管理促進協会

参与兼事務局長

梅原 直

004

## こだま

熊本県立小川工業高等学校「北辰となる人材の育成」

006

## 業務情報

平成30年度事業報告及び決算

平成30年度の試験実施結果について

平成30年度の免状作成等の状況について

026

## 支部の広場

長野県支部からお届け

028

## topic

合格体験記

岡田 拓

愛知県立安城農林高等学校

農業科3年

030

## 消防庁の通知・通達等

034

## 業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

# 7 Voice...

消防試験研究センターだより

2019 July vol.373







もこうした限界が見て取れよう。

## 2 危険物取扱者の法令上の使命

危険物取扱者は、自ら行う危険物の取扱作業においては「貯蔵及び取扱いの基準」を遵守し、危険物取扱作業の立会にあたっては「貯蔵及び取扱いの基準」が遵守されるよう作業従事者を監督し、必要に応じ指示を与えることがその責務とされている（政令第31条第2項及び第3項）。すなわち、危険物取扱者制度は、製造所等におけるソフト面の安全対策である「貯蔵及び取扱いの基準」に従った危険物の取扱いが行われることにより製造所等の保安を確保するための人的面での重要な対策であるといえる。

しかしながら、「貯蔵及び取扱いの基準」は、前1でも述べたとおり個々の製造所等における危険物の取扱い方法等にマッチした具体的基準とはなりにくい面があることから、これを補完するものとして予防規程の制度が設けられている。これは、危険物の取扱作業の基準等について製造所等の実態に則したルールを所有者等が自ら定め、危険物取扱者をはじめとした作業従業者等はこれを守らなければならないこととされているものである（法第14条の2）。なお、甲種又は乙種危険物取扱者のうちから選任される危険物保安監督者は、「貯蔵及び取扱いの基準」及び予防規程等の保安に関する規定に適合するよう作業者に対し必要な指示を与えることが、その最も重要な業務とされているところである（規則第48条）。

## 3 危険物取扱者に期待される資質

「貯蔵及び取扱いの基準」は、製造所等における安全対策として常識的・一般的な内容が定められていることから、製造所等の保安を確保するためには、これに加えて個々の製造所等に則した有用で実践的な予防規程等の自主的保安基準を策定し、これを実行することができる危険物取扱者が存在することが鍵となろう。とりわけ事故発生率が際立って高い製造所及び一般取

扱所の危険物取扱作業に従事する危険物取扱者にあつては、その知識及び技能に基づいて、危険要因の把握と対策（規則第60条の2第1項第八号の三）の確立が適切にできることやトラブル等で非定常作業が発生した際、臨機応変に的確な判断を下せることなどが特に重要な資質といえよう。

危険物取扱者試験は、製造所等の保安確保に重要なこうした知識及び技能を有する者を製造所等に送り出すための大切な関門といえる。このうち危険物関係法令に関しては、ハード面の対策である「位置、構造及び設備の基準」を十分理解していることも必要であるが、製造所等の重大事故の多くが危険物の取扱作業に関連して発生していることも考えれば、危険物取扱者の本来の責務である「貯蔵及び取扱いの基準」等のソフト面の対策を実行するにあたっての判断力・応用力のある人材であることは（特に製造所及び一般取扱所において危険物の取扱作業に従事する可能性のある受験者に対しては）より重要な選抜要件と考えられ、こうした適性を見極めることができるような出題面の工夫も今後の課題となるであろう。なお、危険物の取扱作業の保安に関する講習が、製造所等の態様に応じ種別を区分して実施されているように、危険物の取扱作業が類型化・定型化し得る施設（例えば、移動タンク貯蔵所、給油取扱所等）に関して施設を限定した試験区分とするならば、これら対象施設に係る受験者の危険物関係法令に関する知識がより深まることも期待できるのではなかろうか。



## 熊本県立小川工業高等学校 北辰となる人材の育成

奥田 涼介 (おくだ りょうすけ)  
熊本県立小川工業高等学校  
機械科 実習助手

### 1. はじめに (学校紹介)

小川工業高等学校は、昭和48年に開校された、熊本県内でいちばん若い工業高校です。機械、建築、土木、設備工業、情報電子の5学科の各1クラス、1学年200名、定員600名の学校です。

本校はすべての教育活動を通して、校訓の「誠実・剛健・礼節」を基盤に、工業技術者として、知識を磨き、専門の学理技術を身に付け、確固たる信念をもつ技術者となる人間形成を指針としています。

また、工業高校として、「ものづくりを通じた人づくり」を実践し、社会の変化に対応し、自立した将来を切り開く主体性のある生徒の育成に力を入れており、各科の特色を活かした取組を行なっています。その1つとして「ものづくり推進プロジェクト」では、地域近隣の依頼に応え技術系の部活で猪の檻を製作したり、課題研究の題材として取り扱い、ポッチャの台やお堂を製作するなど、地域社会と連携し、信頼される学校づくりを目指しています。

小川工業高校と言えば「北辰」です。本校では、「北辰となる人材育成」に力をいれています。北辰とは、星空の中心として輝く北極星のように、各方面のリーダーとして活躍できる本校の目指す人間像です。主体性やリーダーシッ



工コ電レース九州大会4連覇・大阪大会6位

プを發揮し、チャレンジ精神と諦めない心、他者への思いやりと感謝の心持つ人材の育成をしています。

### 2. 学科紹介

本校では、機械、建築、土木、設備工業、情報電子の5学科があります。

【機械科】機械科では「ものづくりを通して人をつくる」を目標に、機械についての基礎から最新技術までを実験・実習等を通じて、環境や省エネに配慮できるエンジニアとしての基礎・基本を体験的に学習します。また、コンピュータを使用したCAD(製図)、機械設計、機械工作、原動機、生産システム、自動車工学など、各専門分野を広く学ぶことで、「ものづくり」のできる創意あふれる技術者の育成を目指しています。

【建築科】建築は、自分が設計・施工した建築物が地図に載ったり、その建物が100年以上も残るようなことがあるような大変やりがいのある仕事です。そのため、建築科では私たちが快適な生活をするために、建築の設計や施工についての基本的な知識・技術、歴史を学び、感性を磨くことで実践的な建築技術を身に付け、現場の第一線で活躍する技術者・専門技術者の育成を目指しています。

【土木科】私たちを取り巻く、道路や橋・トンネルや堤防等、たくさんの建造物が土木技術者によって造られています。また、熊本地震により、甚大な被害を受けた道路や橋、家屋の基礎等、復興の中心となることは、全て土木の仕事です。今後も熊本復興のために、一層土木技術者の役割が大きくなると思います。土木科では、土木の専門知識や専門技術を基礎から学び、心身共に土木技術者の柱となるべき人材の育成を目指しています。

【設備工業科】設備工業科は、県内唯一の学科です。設備とは、人々が建物の中で生活するために必要な、冷房・暖房・水道・電気照明等のことです。設備工業科ではこれらの工



事をするために必要な勉強をしています。世の中にエアコン・水道・電気配線がなくなることはありませんので就職先も安定しています。また、幅広く総合的に学べる学科なので進路の選択肢も多くあります。

【情報電子科】情報電子科では、ワープロ、表計算などのオフィスソフトの使い方から、問題解決能力が身につくプログラミング、電子回路など、現代社会で必要とされる幅



機械科：鍛造作業



建築科：木工



土木科：測量



設備工業科：空調設備試験



情報電子科：プログラミング実習

広い技術を学びます。社会に出てからも通用する、各種検定や国家資格、技能士などにも積極的に挑戦しています。そのため、電気電子情報系だけでなく、自動車、機械分野、事務系分野など多様な進路に対応できます。

### 3. 進路状況

進路決定率100%です。本校は工業高校ということもあり、ほとんどの生徒が就職を選択しています。1人当たりの求人は8件ほどあり、生徒達は数ある企業の中から自分に合う企業を選ぶことができます。また、例年と比較して、学校への来客、求人ともに増加しています。特に県内企業の来校が多く、これまで以上に若手の人材育成に本腰を入れている表われだとも思います。求人数に関しては、ここ数年増加傾向にあり、進路決定に一役買っています。

### 4. 資格試験への取組み

本校では、各科特色のある様々な資格試験に挑戦できます。機械科では、旋盤技能士、フライス盤技能士など。建築科は二級建築士（実務要）や建築施工技術など。土木科は2級土木施工管理技術試験や測量士補など。設備工業科では、第2種電気工事士や第三種冷凍機械責任者、県内初となる冷凍空調和機器施工作業2級の技能検定合格も出ています。情報電子科では情報処理技術者や電子機器組立てなど、この他にも各科特色のある資格試験に生徒達は日々挑戦しています。

危険物取扱者試験については、年間を通して学校全体に案内を行っており、受験したい時に受験できる資格として案内しています。これにより他の検定資格試験や部活動等と日程の調整がしやすく、資格試験に向けて集中して取り組むことができます。

本校全体としては、丙種、乙種4類を中心に受験しており、取組も各科毎に違いはありますが、全体受験や個人受験、朝課外や補習等も実施されています。また、乙種4類に合格した生徒は、本人の希望で各類を受験しますが、乙種4類に合格したほとんどの生徒が別の乙種を受験し、合格しています。昨年は本校設備工業科の生徒が甲種を受験し合格し、機械科の生徒が卒業前に乙種を4種類合格するなど、危険物取扱者試験へ挑戦する生徒が増えています。1度乙種4類に合格することができれば、生徒本人達の資格取得意欲も向上し、合格率も高くなる傾向があります。そのためには、まずは乙種4類の合格に向けて各科様々な取組を行なっていく必要があると考えます。

# 事業報告書

## 第1 概況

### 1 手数料改定

平成30年1月26日に「地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令」が公布され、これに基づき各都道府県の手数料条例が改正され、危険物取扱者試験及び消防設備士試験の試験手数料及び免状交付手数料（交付・再交付）が同年5月1日から次のとおり改定された。

		改定前手数料	改定後手数料
危険物取扱者 試験手数料	甲種	5,000円	6,500円
	乙種	3,400円	4,500円
	丙種	2,700円	3,600円
消防設備士 試験手数料	甲種	5,000円	5,700円
	乙種	3,400円	3,800円
免状手数料	交付	2,800円	2,900円
	再交付	1,800円	1,900円

### 2 試験事業の状況

危険物取扱者試験の受験申請者数は、平成22年度から連続して減少となった。これは、少子化による高校生の減少やエネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少などのほか、平成30年度は試験実施回数の増を図ったものの同年5月1日から実施された手数料改定の影響もあったと推測される。

消防設備士試験の受験申請者数は、平成26年度から資格を必要とする社会情勢等により増加を続けてきたが、平成30年度は試験実施回数の増を図ったものの減少となった。危険物取扱者試験と同じく、手数料改定の影響もあったと推測される。

予防技術検定の受検申請者数は増加した。これは、各消防本部において、予防技術資格者のうち、勤続年数が長い職員が退職することに伴い、資格者の充足率の低下が見込まれることから、資格者確保に向けて受検者を増加させていることによるものと推測される。

危険物取扱者試験の受験申請者数は392,065人で、前年度（422,740人）から30,675人減少（△7.3%）した。

消防設備士試験の受験申請者数は103,817人で、前年度（108,920人）から5,103人減少（△4.7%）した。

予防技術検定の受検申請者数は9,261人で、前年度（8,967人）から294人増加（3.3%）した。

### 3 免状事業の状況

免状業務については、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、38都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え（写真書換えを含む）、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は272,564件で、前年度（267,738件）から4,826件増加（1.8%）し、消防設備士は41,278件で、前年度（41,107件）から171件増加（0.4%）した。危険物取扱者と消防設備士の免状作成等の処理件数の合計は、313,842件で前年度（308,845件）から4,997件増加（1.6%）した。

### 4 受験者確保対策の推進

試験事業の根幹をなす危険物取扱者試験の受験申請者数は、近年、減少傾向が続いていることから、有識者等による受験者確保に関する検討委員会報告を踏まえ、工業高校を対象に担当教諭との会議を実施し、理工系大学や自衛隊に対して特定試験の働き掛けを行うなど、36支部で「受験しやすい環境づくりモデル事業」を実施した。

なお、平成28年度から平成30年度の3か年で実施した「受験しやすい環境づ

# 業務情報

## 平成30年度 事業報告及び 決算



くりモデル事業」の結果を踏まえ、令和元年度から3か年で「第Ⅱ期モデル事業」を実施し、全ての支部で更なる受験者確保対策を推進する。

## 第2 個別的事業

### 1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	316	393	395	413	787	411	411	2,810	418	3,544
前年度比	11	8	19	23	24	28	16	118	11	140

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	392,065	355,361	160,195	45.1%
前年度比	△ 30,675	△ 25,682	△ 183	+3.0ポイント

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	105	122	113	116	134	113	703
前年度比	5	0	2	3	5	2	17

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	114	99	100	127	109	141	118	808
前年度比	△ 1	△ 5	△ 1	△ 3	3	△ 1	△ 6	△ 14

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	103,817	80,881	29,106	36.0%
前年度比	△ 5,103	△ 3,538	△ 627	+0.8ポイント

(3) 予防技術検定を平成31年3月17日に全都道府県で、次のとおり実施した。

		受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
防火査察	当年度	5,073	4,796	2,519	52.5%
	前年度比	179	160	245	+3.4ポイント
消防用設備等	当年度	2,398	2,256	1,004	44.5%
	前年度比	145	150	312	+11.6ポイント
危険物	当年度	1,790	1,700	774	45.5%
	前年度比	△ 30	△ 5	△ 261	△ 15.2ポイント
合計	当年度	9,261	8,752	4,297	49.1%
	前年度比	294	305	296	+1.7ポイント

- (4) 電子申請者数は、次のとおりであった。

		電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率
危険物取扱者	当年度	118,447	392,065	30.2%
	前年度比	148	△ 30,675	+2.2ポイント
消防設備士	当年度	35,422	103,817	34.1%
	前年度比	△ 242	△ 5,103	+1.4ポイント
合 計	当年度	153,869	495,882	31.0%
	前年度比	△ 94	△ 35,778	+2.0ポイント

- (5) 過去に出題した試験問題の公開について、平成30年5月22日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、平成30年6月20日から、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、平成30年度末現在、危険物取扱者試験については156問、消防設備士試験については81問をホームページ上で公開している。

## 2 免状事業

- (1) 全都道府県の委託を受け、新規、書換え（写真書換えを含む）及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

ア 免状作成等の事務処理件数

(単位：件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	155,061	104,995	1,664	10,844	272,564
	前年度比	3,393	1,561	13	△ 141	4,826
消防設備士	当年度	28,268	11,857	212	941	41,278
	前年度比	△ 232	381	2	20	171
合 計	当年度	183,329	116,852	1,876	11,785	313,842
	前年度比	3,161	1,942	15	△ 121	4,997

※ 書換え（「写真」以外）については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

- イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

	登録件数の累計(件)
危険物取扱者	7,799,370
消防設備士	1,007,143
合 計	8,806,513

- (2) 38都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、96,172人に通知（危険物取扱者88,909人、消防設備士7,263人）した。

うち21,642人（22.5%）が写真書換えを申請した。

(受託都道府県)

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を、次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	185,073
消防設備士	67,533
合 計	252,606

### 3 企画研究事業

(1) 業務情報システムの円滑な稼働、運営を行った。

ア 次期業務情報システムへの対応

現行業務情報システムが更新時期を迎えることから、次期業務情報システムのあり方について検討を行った。

イ 新元号への対応

新元号への対応に向けた準備を進めたが、新元号の公表が平成31年4月と定められたことから、令和元年度に対応することとした。

(2) 受験しやすい環境づくりモデル事業を、36支部において実施した。

モデル事業内容	実施支部
工業高校	北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、中央試験センター、神奈川県、新潟県、山梨県、石川県、福井県、静岡県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
理工系大学	中央試験センター、大阪府
自衛隊	北海道、京都府
消防団	滋賀県

(3) 広報活動を次のとおり行った。

ア 資格制度等に関する広報

試験・検定の案内パンフレットの他、広報ターゲットを明確にした大学生及び高校生向け受験促進パンフレット、資格試験広報ポスター、写真書換え啓発ポスターを作成して、関係機関等に配布し資格制度等の周知を図った。

(作成数量)

① 試験・検定の案内パンフレット	44,700部
② 資格試験広報ポスター	16,310枚
③ 大学生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット（甲種）	10,800部
④ 高校生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット	56,200部
⑤ 写真書換え啓発ポスター	12,340枚

(配布先)

高校・大学、事業所、都道府県及び消防機関等

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を発行し、関係機関に配布した。

(作成数量) 隔月 3,100部

(配布先) 高校、都道府県、消防機関及び消防関係団体等

ウ ホームページの活用

電子申請の案内や全国の試験実施日程等をお知らせするとともに、台風や豪雨災害による試験の延期等の緊急情報を迅速に提供した。

エ 受験者確保対策として、「高校生の危険物取扱者試験（丙種）に向けて」（CD版）を作成し広く高校等で活用を図った。

(作成数量) CD 2,200枚

オ 消防関係の専門誌等を活用して広報活動を行った。

(4) 「平成29年度版危険物取扱者試験・消防設備士試験・免状統計表」を作成し配布した。

(作成数量) 320部

(配布先) 消防庁、都道府県

(5) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリー委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。



#### 4 その他事業

- (1) 支部監査を9支部において実施するとともに、それ以外の37支部に対して自己点検方式による補完監査を実施した。また、公認会計士による外部監査を2支部において実施した。

(支部監査(実地監査)実施支部)

青森県、岩手県、茨城県、群馬県、新潟県、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県

(支部監査(補完監査)実施支部)

実地監査該当支部以外、37支部

(外部監査実施支部)

栃木県、富山県

- (2) 試験業務及び免状業務の円滑な執行を図るため、全国支部長会議を1回、ブロック幹事支部長会議を1回それぞれ東京で開催するとともに、都道府県消防主管課の出席を得て、全国6ヶ所でブロック支部長会議を開催し、経営改善対策や受験しやすい環境づくりモデル事業(第II期)の実施等についての説明や意見交換等を行った。

(ブロック支部長会議開催地)

ブロック名	開催地	開催日
北海道・東北	岩手県	平成30年9月20日
関東・甲信越	埼玉県	平成30年10月4日
中部	福井県	平成30年11月5日
近畿	滋賀県	平成30年9月13日
中国・四国	島根県	平成30年9月18日
九州	佐賀県	平成30年10月16日

- (3) 消防防災推進事業助成を、79事業に対して行った。
- (4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

### 第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

#### 1 評議員会

第13回評議員会(平成30年6月25日(月)開催)

理事の選任

田中経康氏

平成29年度事業報告の報告及び平成29年度決算の承認

平成29年度公益目的支出計画実施報告書の報告

#### 2 理事会

(1) 第23回理事会(平成30年5月23日(水)開催)

事務局長の任命

中小路昌弘氏

(2) 第24回理事会(平成30年6月7日(木)開催)

理事長(代表理事)及び常務理事(常務執行理事)の職務執行状況報告

平成29年度事業報告の承認及び平成29年度決算の決定

平成29年度公益目的支出計画実施報告書の承認

評議員会招集の決定

- (3) 第25回理事会（平成31年3月14日（木）開催）  
理事長（代表理事）及び常務理事（常務執行理事）の職務執行状況報告  
平成31年度事業計画及び平成31年度収支予算の承認

## 附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 平成30年度決算書

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	575,552,949	582,909,683	△ 7,356,734
未収金	73,726,730	77,345,741	△ 3,619,011
前払金	18,366,660	12,510,290	5,856,370
貯蔵品	9,555,197	14,778,889	△ 5,223,692
流動資産合計	677,201,536	687,544,603	△ 10,343,067
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
普通預金	608,014,042	608,014,042	0
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
投資有価証券	1,721,985,958	1,721,985,958	0
基本財産合計	2,530,000,000	2,530,000,000	0
<b>(2) 特定資産</b>			
役員退職慰労引当資産	14,383,800	8,724,600	5,659,200
退職給付引当資産	352,158,195	329,937,508	22,220,687
減価償却引当資産	612,537,719	514,864,376	97,673,343
特定資産合計	979,079,714	853,526,484	125,553,230
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物附属設備	4,159,325	4,990,299	△ 830,974
什器備品	47,822,623	92,229,381	△ 44,406,758
ソフトウェア	56,402,129	131,330,378	△ 74,928,249
電話加入権	162,000	166,500	△ 4,500
敷金	20,360,208	20,360,208	0
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	128,936,285	249,106,766	△ 120,170,481
固定資産合計	3,638,015,999	3,632,633,250	5,382,749
資産合計	4,315,217,535	4,320,177,853	△ 4,960,318
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	34,019,813	63,227,818	△ 29,208,005
前受金	39,357,275	22,902,207	16,455,068
預り金	20,837,947	21,531,443	△ 693,496
特別手当引当金	59,367,763	57,369,260	1,998,503
流動負債合計	153,582,798	165,030,728	△ 11,447,930
<b>2 固定負債</b>			
役員退職慰労引当金	14,383,800	8,724,600	5,659,200
退職給付引当金	352,158,195	329,937,508	22,220,687
固定負債合計	366,541,995	338,662,108	27,879,887
負債合計	520,124,793	503,692,836	16,431,957
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>2 一般正味財産</b>			
一般正味財産	3,666,592,742	3,687,985,017	△ 21,392,275
(うち基本財産への充当額)	(2,401,500,000)	(2,401,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(612,537,719)	(514,864,376)	(97,673,343)
正味財産合計	3,795,092,742	3,816,485,017	△ 21,392,275
負債及び正味財産合計	4,315,217,535	4,320,177,853	△ 4,960,318



# 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	16,451,892	16,530,933	△ 79,041
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	8,596	8,319	277
③ 受取試験手数料	2,229,010,100	1,958,321,200	270,688,900
危険物取扱者試験手数料	1,685,008,600	1,454,787,000	230,221,600
消防設備士試験手数料	491,213,800	458,699,200	32,514,600
予防技術検定手数料	52,787,700	44,835,000	7,952,700
④ 受取免状受託料	527,735,995	512,998,955	14,737,040
危険物取扱者免状受託料	447,252,110	432,248,111	15,003,999
消防設備士免状受託料	70,373,019	70,982,548	△ 609,529
写真書換促進業務受託料	10,110,866	9,768,296	342,570
⑤ 雑収益	1,368,151	2,366,008	△ 997,857
受取利息	6,700	7,543	△ 843
証紙等手数料	322,483	321,670	813
免状交付等手数料徴収事務受託料	879,120	879,120	0
雑収益	159,848	1,157,675	△ 997,827
経常収益計	2,774,574,734	2,490,225,415	284,349,319
(2) 経常費用			
① 事業費	2,708,160,269	2,784,198,600	△ 76,038,331
役員報酬	22,184,732	20,758,419	1,426,313
給料手当	960,725,318	1,007,453,197	△ 46,727,879
法定福利費	149,670,318	155,962,005	△ 6,291,687
福利厚生費	19,525,487	23,612,614	△ 4,087,127
役員退職慰労引当金繰入額	2,894,640	2,811,060	83,580
退職給付費用	37,158,530	37,714,766	△ 556,236
特別手当引当金繰入額	54,968,484	53,307,792	1,660,692
試験監督員賃金	227,917,917	235,064,570	△ 7,146,653
臨時雇賃金	49,506,345	52,617,201	△ 3,110,856
諸謝金	8,153,019	8,624,747	△ 471,728
事務所等賃借料	172,105,240	174,268,320	△ 2,163,080
試験会場賃借料	92,057,688	91,390,796	666,892
事業負担金	14,673,890	13,000,000	1,673,890
リース料	27,603,442	27,452,002	151,440
光熱水料費	13,523,518	13,702,845	△ 179,327
通信運搬費	171,334,492	165,565,612	5,768,880
印刷製本費	126,974,299	141,778,260	△ 14,803,961
委託費	201,168,031	192,617,470	8,550,561
保守管理費	8,488,072	5,844,641	2,643,431
旅費交通費	30,426,673	37,526,648	△ 7,099,975
電子申請試験手数料収納費	30,592,949	29,096,807	1,496,142
消耗什器備品費	0	480,216	△ 480,216
消耗品費	51,441,254	43,710,046	7,731,208
会議費	14,914,689	20,928,533	△ 6,013,844
広告費	16,595,326	21,620,374	△ 5,025,048
消防防災等推進事業助成金	38,544,063	38,357,197	186,866
諸会費	437,549	816,201	△ 378,652
災害保険料	979,612	1,045,270	△ 65,658
租税公課	27,707,728	24,979,898	2,727,830
減価償却費	123,796,292	127,440,098	△ 3,643,806
雑費	12,090,672	14,650,995	△ 2,560,323

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	87,802,239	94,776,863	△ 6,974,624
役員報酬	21,552,713	21,407,893	144,820
給料手当	27,166,744	28,980,445	△ 1,813,701
法定福利費	5,781,638	6,003,046	△ 221,408
福利厚生費	1,242,905	1,519,252	△ 276,347
役員退職慰労引当金繰入額	2,764,560	3,208,340	△ 443,780
退職給付費用	612,244	821,532	△ 209,288
特別手当引当金繰入額	4,399,279	4,061,468	337,811
臨時雇賃金	1,939,528	2,037,889	△ 98,361
諸謝金	1,299,912	1,266,237	33,675
事務所等賃借料	12,886,212	12,886,213	△ 1
運営負担金	0	3,800,000	△ 3,800,000
リース料	298,167	100,972	197,195
光熱水料費	722,926	712,299	10,627
通信運搬費	640,735	666,300	△ 25,565
印刷製本費	427,335	512,836	△ 85,501
委託費	1,231,910	994,549	237,361
保守管理費	721,449	385,028	336,421
旅費交通費	400,223	699,014	△ 298,791
消耗品費	389,813	662,287	△ 272,474
会議費	286,952	747,416	△ 460,464
広告費	16,776	109,310	△ 92,534
諸会費	51,839	98,560	△ 46,721
災害保険料	148,838	163,250	△ 14,412
租税公課	2,651,365	2,721,292	△ 69,927
雑費	168,176	211,435	△ 43,259
経常費用計	2,795,962,508	2,878,975,463	△ 83,012,955
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,387,774	△ 388,750,048	367,362,274
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 21,387,774	△ 388,750,048	367,362,274
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
建物附属設備除却損	0	17,602	△ 17,602
什器備品除却損	1	6,549	△ 6,548
電話加入権解約損	4,500	1,500	3,000
経常外費用計	4,501	25,651	△ 21,150
当期経常外増減額	△ 4,501	△ 25,651	21,150
当期一般正味財産増減額	△ 21,392,275	△ 388,775,699	367,383,424
一般正味財産期首残高	3,687,985,017	4,076,760,716	△ 388,775,699
一般正味財産期末残高	3,666,592,742	3,687,985,017	△ 21,392,275
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	3,795,092,742	3,816,485,017	△ 21,392,275

# 平成30年度の試験実施結果について —業務部—

当センターが平成30年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の試験実施結果は次のとおりです。

## 1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示しています。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回，人)

年 度	区 分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合 計
平成28年度	試験実施回数	3,408	1,508	4,916
	申請者数	431,339	108,284	539,623
	受験者数	388,505	84,337	472,842
	合格者数	145,016	29,117	174,133
平成29年度	試験実施回数	3,404	1,508	4,912
	申請者数	422,740	108,920	531,660
	受験者数	381,043	84,990	466,033
	合格者数	160,378	29,733	190,111
平成30年度	試験実施回数	3,544	1,511	5,055
	申請者数	392,065	103,817	495,882
	受験者数	355,361	80,881	436,242
	合格者数	160,195	29,106	189,301
対前年度	試験実施回数	+140	+3	+143
	申請者数	-30,675	-5,103	-35,778
	受験者数	-25,682	-4,109	-29,791
	合格者数	-183	-627	-810

## 2 危険物取扱者試験の実施状況

### (1) 試験実施回数の状況 (表2)

試験実施回数は、3,544回で、前年度の3,404回に比べ140回増加しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年 度	甲 種	乙 種							丙 種	合 計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小 計		
平成28年度	297	383	385	387	739	398	399	2,691	420	3,408
平成29年度	305	385	376	390	763	383	395	2,692	407	3,404
平成30年度	316	393	395	413	787	411	411	2,810	418	3,544
対前年度	+11	+8	+19	+23	+24	+28	+16	+118	+11	+140



## (2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

全受験申請者数は392,065人と、前年度に比べ30,675人の減少となり、全ての種類の申請者に減少傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の最も一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が269,358人(全体の68.7%)と最も多くなっています。この傾向は例年どおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成28年度	申請者	26,639	13,114	12,669	14,014	299,080	14,042	15,246	368,165	36,535	431,339
	構成割合	6.2	3.0	2.9	3.2	69.3	3.3	3.5	85.4	8.5	100
平成29年度	申請者	26,287	13,568	12,566	14,570	289,795	14,751	16,077	361,327	35,126	422,740
	構成割合	6.2	3.2	3.0	3.4	68.6	3.5	3.8	85.5	8.3	100
平成30年度	申請者	24,381	12,777	12,004	13,541	269,358	13,827	14,292	335,799	31,885	392,065
	構成割合	6.2	3.3	3.1	3.5	68.7	3.5	3.6	85.7	8.1	100
対前年度	申請者	-1,906	-791	-562	-1,029	-20,437	-924	-1,785	-25,528	-3,241	-30,675

## (3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は45.1%であり、前年度と比較すると、3ポイントの増加でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が39.8%、乙種第4類が39.0%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成28年度	受験者	22,845	12,586	12,151	13,403	264,946	13,510	14,662	331,258	34,402	388,505
	合格者	7,653	8,250	8,171	9,165	76,575	9,039	9,425	120,625	16,738	145,016
	合格率	33.5	65.5	67.2	68.4	28.9	66.9	64.3	36.4	48.7	37.3
平成29年度	受験者	22,504	13,047	12,074	13,992	256,587	14,186	15,525	325,411	33,128	381,043
	合格者	8,388	8,923	8,561	9,677	88,328	9,850	9,871	135,210	16,780	160,378
	合格率	37.3	68.4	70.9	69.2	34.4	69.4	63.6	41.6	50.7	42.1
平成30年度	受験者	20,977	12,333	11,620	13,045	240,102	13,362	13,894	304,356	30,028	355,361
	合格者	8,358	8,256	7,936	8,834	93,667	8,829	8,949	136,471	15,366	160,195
	合格率	39.8	66.9	68.3	67.7	39.0	66.1	64.4	44.8	51.2	45.1

## (4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の31.0%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は15,804人の減少、その割合は1.5ポイントの減少でした(前年度は137,403人32.5%)。また、高校生の甲種受験申請者は985人(前年度954人)でした。

平成20年度、25年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、高校生以外の学生、教育・研究機関の方の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

■ 表 5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
高校生	申請者	985	6,339	4,870	5,142	69,226	5,236	7,219	98,032	22,582	121,599	31.0
	受験者	962	6,262	4,825	5,083	66,922	5,171	7,137	95,400	21,715	118,077	
	合格者	223	3,731	2,978	3,047	17,159	3,024	3,910	33,849	9,944	44,016	
	合格率	23.2	59.6	61.7	59.9	25.6	58.5	54.8	35.5	45.8	37.3	
高校以外の学生、教育・研究機関	申請者	4,030	379	279	539	16,715	500	457	18,869	978	23,877	6.1
	受験者	3,667	357	264	515	14,797	485	442	16,860	895	21,422	
	合格者	1,676	266	180	377	7,095	345	306	8,569	558	10,803	
	合格率	45.7	74.5	68.2	73.2	47.9	71.1	69.2	50.8	62.3	50.4	
ガソリンスタンド	申請者	94	39	45	63	20,736	54	47	20,984	1,032	22,110	5.6
	受験者	74	36	41	60	17,955	52	43	18,187	923	19,184	
	合格者	21	23	31	38	5,189	36	26	5,343	433	5,797	
	合格率	28.4	63.9	75.6	63.3	28.9	69.2	60.5	29.4	46.9	30.2	
化学工業	申請者	7,519	798	1,131	939	13,106	1,487	684	18,145	45	25,709	6.6
	受験者	6,602	761	1,086	885	11,664	1,427	661	16,484	39	23,125	
	合格者	2,755	529	733	585	4,548	890	477	7,762	33	10,550	
	合格率	41.7	69.5	67.5	66.1	39.0	62.4	72.2	47.1	84.6	45.6	
危険物の卸売業、小売業	申請者	172	113	160	120	7,729	138	138	8,398	573	9,143	2.3
	受験者	142	107	148	110	6,551	129	129	7,174	497	7,813	
	合格者	48	84	101	82	2,713	89	89	3,158	330	3,536	
	合格率	33.8	78.5	68.2	74.5	41.4	69.0	69.0	44.0	66.4	45.3	
危険物の運送業	申請者	147	154	220	184	4,279	191	284	5,312	710	6,169	1.6
	受験者	122	141	207	174	3,469	178	265	4,434	559	5,115	
	合格者	35	96	140	116	1,217	121	170	1,860	364	2,259	
	合格率	28.7	68.1	67.6	66.7	35.1	68.0	64.2	41.9	65.1	44.2	
危険物を扱うその他の事業	申請者	4,890	1,512	2,099	1,870	59,070	1,977	1,689	68,217	1,572	74,679	19.1
	受験者	4,125	1,427	2,013	1,772	52,051	1,878	1,609	60,750	1,431	66,306	
	合格者	1,698	1,032	1,415	1,254	21,606	1,303	1,157	27,767	951	30,416	
	合格率	41.2	72.3	70.3	70.8	41.5	69.4	71.9	45.7	66.5	45.9	
公務員	申請者	1,188	847	779	1,287	13,082	1,056	910	17,961	436	19,585	5.0
	受験者	954	817	747	1,230	11,771	1,011	872	16,448	421	17,823	
	合格者	360	643	612	948	7,605	756	697	11,261	375	11,996	
	合格率	37.7	78.7	81.9	77.1	64.6	74.8	79.9	68.5	89.1	67.3	
その他	申請者	4,913	2,461	2,267	3,180	59,461	2,934	2,597	72,900	3,408	81,221	20.7
	受験者	3,935	2,298	2,143	3,009	49,624	2,786	2,476	62,336	3,066	69,337	
	合格者	1,409	1,772	1,653	2,259	25,119	2,101	1,954	34,858	2,140	38,407	
	合格率	35.8	77.1	77.1	75.1	50.6	75.4	78.9	55.9	69.8	55.4	
未入力	申請者	443	135	154	217	5,954	254	267	6,981	549	7,973	2.0
	受験者	394	127	146	207	5,298	245	260	6,283	482	7,159	
	合格者	133	80	93	128	1,416	164	163	2,044	238	2,415	
	合格率	33.8	63.0	63.7	61.8	26.7	66.9	62.7	32.5	49.4	33.7	
合計	申請者	24,381	12,777	12,004	13,541	269,358	13,827	14,292	335,799	31,885	392,065	100
	受験者	20,977	12,333	11,620	13,045	240,102	13,362	13,894	304,356	30,028	355,361	
	合格者	8,358	8,256	7,936	8,834	93,667	8,829	8,949	136,471	15,366	160,195	
	合格率	39.8	66.9	68.3	67.7	39.0	66.1	64.4	44.8	51.2	45.1	

■ 表 5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外	ガソリンスタンド	化学工業	危険物卸・小売	危険物の運送業	危険物を扱うその他の事業	公務員	その他	未入力	合計
平成20年度	申請者数	206,046	34,885	33,079	28,240	8,352	6,581	83,821	18,665	81,757	7,241	508,667
	構成割合	40.5	6.9	6.5	5.6	1.6	1.3	16.5	3.7	16.1	1.4	100
平成25年度	申請者数	179,135	32,676	27,835	27,065	9,327	6,177	74,349	20,890	88,872	10,886	477,212
	構成割合	37.5	6.8	5.8	5.7	2.0	1.3	15.6	4.4	18.6	2.3	100
平成30年度	申請者数	121,599	23,877	22,110	25,709	9,143	6,169	74,679	19,585	81,221	7,973	392,065
	構成割合	31.0	6.1	5.6	6.6	2.3	1.6	19.1	5.0	20.7	2.0	100

### (5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が36.9%と高い値となっています。年齢別構成割合は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,324	6,658	5,231	5,551	88,629	5,648	7,628	119,345	23,919	144,588	36.9
	受験者	1,282	6,575	5,175	5,476	84,589	5,569	7,539	114,923	22,963	139,168	
	合格者	329	3,936	3,194	3,296	23,295	3,271	4,145	41,137	10,615	52,081	
	合格率	25.7	59.9	61.7	60.2	27.5	58.7	55.0	35.8	46.2	37.4	
20代	申請者	11,894	1,578	1,770	2,165	70,028	2,262	1,691	79,494	2,105	93,493	23.8
	受験者	10,606	1,490	1,677	2,055	60,781	2,136	1,611	69,750	1,879	82,235	
	合格者	5,057	1,098	1,200	1,481	27,326	1,462	1,191	33,758	1,148	39,963	
	合格率	47.7	73.7	71.6	72.1	45.0	68.4	73.9	48.4	61.1	48.6	
30代	申請者	5,323	1,657	1,933	2,115	46,930	2,216	1,875	56,726	1,860	63,909	16.3
	受験者	4,294	1,554	1,839	1,999	40,293	2,134	1,796	49,615	1,636	55,545	
	合格者	1,535	1,182	1,340	1,505	17,608	1,540	1,366	24,541	1,112	27,188	
	合格率	35.7	76.1	72.9	75.3	43.7	72.2	76.1	49.5	68.0	48.9	
40代	申請者	3,664	1,812	1,929	2,294	39,660	2,311	1,939	49,945	2,154	55,763	14.2
	受験者	3,029	1,702	1,835	2,175	33,825	2,216	1,852	43,605	1,900	48,534	
	合格者	931	1,293	1,388	1,580	15,003	1,603	1,392	22,259	1,302	24,492	
	合格率	30.7	76.0	75.6	72.6	44.4	72.3	75.2	51.0	68.5	50.5	
50代	申請者	1,749	869	950	1,158	18,920	1,158	941	23,996	1,284	27,029	6.9
	受験者	1,415	819	905	1,093	16,137	1,083	885	20,922	1,147	23,484	
	合格者	389	608	673	786	7,795	785	692	11,339	851	12,579	
	合格率	27.5	74.2	74.4	71.9	48.3	72.5	78.2	54.2	74.2	53.6	
60代	申請者	375	178	172	237	4,657	206	202	5,652	501	6,528	1.7
	受験者	305	168	170	226	4,041	199	195	4,999	446	5,750	
	合格者	104	125	128	176	2,446	153	149	3,177	304	3,585	
	合格率	34.1	74.4	75.3	77.9	60.5	76.9	76.4	63.6	68.2	62.3	
70代以上	申請者	52	25	19	21	534	26	16	641	62	755	0.2
	受験者	46	25	19	21	436	25	16	542	57	645	
	合格者	13	14	13	10	194	15	14	260	34	307	
	合格率	28.3	56.0	68.4	47.6	44.5	60.0	87.5	48.0	59.6	47.6	
合計	申請者	24,381	12,777	12,004	13,541	269,358	13,827	14,292	335,799	31,885	392,065	100
	受験者	20,977	12,333	11,620	13,045	240,102	13,362	13,894	304,356	30,028	355,361	
	合格者	8,358	8,256	7,936	8,834	93,667	8,829	8,949	136,471	15,366	160,195	
	合格率	39.8	66.9	68.3	67.7	39.0	66.1	64.4	44.8	51.2	45.1	

### 3 消防設備士試験の実施状況

#### (1) 試験実施回数 (表7)

試験実施回数は、1,511回で前年度の1,508回に比べ3回増加しました。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数 (単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
平成28年度	101	124	110	113	134	110	692	113	101	103	132	107	137	123	816	1,508
平成29年度	100	122	111	113	129	111	686	115	104	101	130	106	142	124	822	1,508
平成30年度	105	122	113	116	134	113	703	114	99	100	127	109	141	118	808	1,511
対前年度	+5	+0	+2	+3	+5	+2	+17	-1	-5	-1	-3	+3	-1	-6	-14	+3



(2) 種類別受験申請者数の状況 (表8)

全受験申請者は103,817人であり、前年度の108,920人に比べ5,103人の減少となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成28年度	申請者	1,502	16,424	4,142	4,371	25,640	4,169	56,248	3,299	903	964	12,829	1,217	26,096	6,728	52,036	108,284
	構成割合	1.4	15.2	3.8	4.0	23.7	3.9	51.9	3.0	0.8	0.9	11.8	1.1	24.1	6.2	48.1	100
平成29年度	申請者	1,508	15,774	4,137	4,358	25,265	4,190	55,232	3,155	885	1,002	13,414	1,179	27,182	6,871	53,688	108,920
	構成割合	1.4	14.5	3.8	4.0	23.2	3.8	50.7	2.9	0.8	0.9	12.3	1.1	25.0	6.3	49.3	100
平成30年度	申請者	1,364	14,831	3,960	4,181	24,604	4,028	52,968	2,773	718	866	12,489	1,131	26,616	6,256	50,849	103,817
	構成割合	1.3	14.3	3.8	4.0	23.7	3.9	51.0	2.7	0.7	0.8	12.0	1.1	25.6	6.0	49.0	100
対前年度		-144	-943	-177	-177	-661	-162	-2,264	-382	-167	-136	-925	-48	-566	-615	-2,839	-5,103

(3) 種類別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は36.0%であり、前年度と比較すると、0.8ポイントの上昇でした。

■ 表9 消防設備士試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成28年度	受験者	1,289	12,044	3,313	3,447	19,301	3,298	42,692	2,669	752	809	10,072	984	20,627	5,732	41,645	84,337
	合格者	212	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	12,959	766	263	226	3,277	459	7,807	3,360	16,158	29,117
	合格率	16.4	24.6	32.8	31.6	33.2	36.7	30.4	28.7	35.0	27.9	32.5	46.6	37.8	58.6	38.8	34.5
平成29年度	受験者	1,228	11,360	3,156	3,385	19,033	3,280	41,442	2,531	732	860	10,405	935	21,623	5,891	42,977	84,419
	合格者	303	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	12,993	780	268	257	3,367	397	8,188	3,483	16,740	29,733
	合格率	24.7	28.4	38.8	34.3	30.7	37.8	31.4	30.8	36.6	29.9	32.4	42.5	37.9	59.1	39.0	35.2
平成30年度	受験者	1,178	10,675	3,127	3,286	18,484	3,215	39,965	2,250	609	741	9,800	939	21,194	5,383	40,916	80,881
	合格者	282	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	16,369	29,106
	合格率	23.9	27.5	35.6	39.0	32.4	35.2	31.9	31.4	35.3	35.8	32.4	39.1	40.0	58.7	40.0	36.0

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は57.2%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合(最終合格率)は36.0%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
申請者数		1,364	14,831	3,960	4,181	24,604	4,028	52,968	2,773	718	866	12,489	1,131	26,616	6,256	103,817
受験者数		1,178	10,675	3,127	3,286	18,484	3,215	39,965	2,250	609	741	9,800	939	21,194	5,383	80,881
筆 記	合格者数	282	4,594	1,966	2,135	10,629	1,947	27,578	1,194	351	503	5,944	561	12,640	3,503	46,249
	合格率	23.9	43.0	62.9	65.0	57.5	60.6	69.3	53.1	57.6	67.9	60.7	59.7	59.6	65.1	57.2
実 技	合格者数	—	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	29,106
	合格率	—	64.0	56.6	60.1	56.3	58.2	59.1	61.3	52.7	53.5	65.4	67.0	72.2	60.8	
最 終	合格者数	282	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	29,106
	合格率	23.9	27.5	35.6	39.0	32.4	35.2	31.9	31.4	35.3	35.8	32.4	39.1	40.0	58.7	36.0

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移(表11-2)については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表 11-1 消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業	区分	甲 種								乙 種								合計	申請者の構成割合
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	小 計			
学生	申請者	0	121	10	8	895	9	1,043	89	5	2	889	9	649	895	2,538	3,581	3.4	
	受験者	0	104	9	6	775	9	903	79	3	2	763	8	545	852	2,252	3,155		
	合格者	0	28	3	2	295	4	332	21	1	1	246	1	222	364	856	1,188		
	合格率	0.0	26.9	33.3	33.3	38.1	44.4	36.8	26.6	33.3	50.0	32.2	12.5	40.7	42.7	38.0	37.7		
消防設備業	申請者	631	3,250	1,612	1,951	4,254	2,034	13,732	276	81	151	776	153	5,775	727	7,939	21,671	20.9	
	受験者	533	2,412	1,252	1,515	3,394	1,606	10,712	213	67	128	638	123	4,572	615	6,356	17,068		
	合格者	126	548	363	451	969	374	2,831	52	20	30	168	30	1,303	339	1,942	4,773		
	合格率	23.6	22.7	29.0	29.8	28.6	23.3	26.4	24.4	29.9	23.4	26.3	24.4	28.5	55.1	30.6	28.0		
電気工事業	申請者	74	653	152	314	9,132	276	10,601	83	7	44	1045	50	1,645	1,357	4,231	14,832	14.3	
	受験者	60	447	117	242	6,699	219	7,784	58	6	36	772	37	1,276	1,114	3,299	11,083		
	合格者	8	137	50	93	1,641	82	2,011	15	2	10	177	15	471	573	1,263	3,274		
	合格率	13.3	30.6	42.7	38.4	24.5	37.4	25.8	25.9	33.3	27.8	22.9	40.5	36.9	51.4	38.3	29.5		
管工事業	申請者	64	6,082	603	403	687	121	7,960	181	12	8	130	10	822	97	1,260	9,220	8.9	
	受験者	52	4,266	444	297	462	101	5,622	131	6	8	95	10	608	74	932	6,554		
	合格者	11	819	128	117	160	41	1,276	22	1	4	22	2	227	42	320	1,596		
	合格率	21.2	19.2	28.8	39.4	34.6	40.6	22.7	16.8	16.7	50.0	23.2	20.0	37.3	56.8	34.3	24.4		
建築業	申請者	49	1,350	239	170	1,628	158	3,594	81	8	27	431	23	940	200	1,710	5,304	5.1	
	受験者	46	911	184	141	1,042	118	2,442	61	7	25	304	20	691	164	1,272	3,714		
	合格者	11	311	72	68	329	54	845	15	3	8	74	6	283	100	489	1,334		
	合格率	23.9	34.1	39.1	48.2	31.6	45.8	34.6	24.6	42.9	32.0	24.3	30.0	41.0	61.0	38.4	35.9		
ビル管理業	申請者	165	1,072	478	461	2,733	505	5,414	357	125	131	1,804	226	3,050	968	6,661	12,075	11.6	
	受験者	141	775	379	364	2,009	408	4,076	269	101	107	1,350	187	2,249	861	5,124	9,200		
	合格者	31	352	171	182	789	196	1,721	126	53	54	447	75	946	595	2,296	4,017		
	合格率	22.0	45.4	45.1	50.0	39.3	48.0	42.2	46.8	52.5	50.5	33.1	40.1	42.1	69.1	44.8	43.7		
ビル整備業	申請者	4	41	11	22	61	19	158	15	7	7	69	9	141	31	279	437	0.4	
	受験者	4	28	7	16	40	15	110	12	6	6	50	6	105	28	213	323		
	合格者	3	16	0	4	11	6	40	2	2	2	17	4	47	14	88	128		
	合格率	75.0	57.1	0.0	25.0	27.5	40.0	36.4	16.7	33.3	33.3	34.0	66.7	44.8	50.0	41.3	39.6		
公務員	申請者	93	421	205	194	826	254	1,993	228	59	66	865	174	2,505	363	4,260	6,253	6.0	
	受験者	87	339	174	176	656	213	1,645	187	48	61	681	151	2,145	315	3,588	5,233		
	合格者	35	213	99	111	379	127	964	78	23	35	265	80	1,053	212	1,746	2,710		
	合格率	40.2	62.8	56.9	63.1	57.8	59.6	58.6	41.7	47.9	57.4	38.9	53.0	49.1	67.3	48.7	51.8		
その他	申請者	272	1,698	621	625	4,126	626	7,968	1,440	409	422	6,316	463	10,760	1,554	21,364	29,332	28.3	
	受験者	244	1,294	534	503	3,215	505	6,295	1,221	360	360	5,019	383	8,738	1,308	17,389	23,684		
	合格者	56	495	220	246	1,361	247	2,625	374	108	117	1,738	152	3,855	896	7,240	9,865		
	合格率	23.0	38.3	41.2	48.9	42.3	48.9	41.7	30.6	30.0	32.5	34.6	39.7	44.1	68.5	41.6	41.7		
未入力	申請者	12	143	29	33	262	26	505	23	5	8	164	14	329	64	607	1,112	1.1	
	受験者	11	99	27	26	192	21	376	19	5	8	128	14	265	52	491	867		
	合格者	1	21	7	9	52	2	92	1	2	4	24	2	69	27	129	221		
	合格率	9.1	21.2	25.9	34.6	27.1	9.5	24.5	5.3	40.0	50.0	18.8	14.3	26.0	51.9	26.3	25.5		
合計	申請者	1,364	14,831	3,960	4,181	24,604	4,028	52,968	2,773	718	866	12,489	1,131	26,616	6,256	50,849	103,817	100	
	受験者	1,178	10,675	3,127	3,286	18,484	3,215	39,965	2,250	609	741	9,800	939	21,194	5,383	40,916	80,881		
	合格者	282	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	16,369	29,106		
	合格率	23.9	27.5	35.6	39.0	32.4	35.2	31.9	31.4	35.3	35.8	32.4	39.1	40.0	58.7	40.0	36.0		

■ 表 11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成20年度	申請者数	3,521	18,204	12,754	7,258	3,247	9,732	317	5,433	23,897	698	85,061
	構成割合	4.1	21.4	15.0	8.5	3.8	11.4	0.4	6.4	28.1	0.8	100
平成25年度	申請者数	5,217	19,940	12,775	8,266	4,163	11,890	440	5,674	31,293	1,747	101,405
	構成割合	5.1	19.7	12.6	8.2	4.1	11.7	0.4	5.6	30.9	1.7	100
平成30年度	申請者数	3,581	21,671	14,832	9,220	5,304	12,075	437	6,253	29,332	1,112	103,817
	構成割合	3.4	20.9	14.3	8.9	5.1	11.6	0.4	6.0	28.3	1.1	100

(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は3.2%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く28.1%を占め、40歳代、20歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表 12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の 構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
20代 未満	申請者	0	178	8	8	829	7	1,030	58	4	8	479	5	835	906	2,295	3,325	3.2
	受験者	0	139	6	7	714	5	871	54	3	8	408	5	720	868	2,066	2,937	
	合格者	0	10	2	1	200	2	215	12	1	1	71	2	182	352	621	836	
	合格率	0.0	7.2	33.3	14.3	28.0	40.0	24.7	22.2	33.3	12.5	17.4	40.0	25.3	40.6	30.1	28.5	
20代	申請者	81	4,632	665	666	7,612	578	14,234	594	86	144	2,702	162	7,808	1,204	12,700	26,934	25.9
	受験者	71	3,258	489	492	5,551	455	10,316	464	68	115	2,054	129	6,300	964	10,094	20,410	
	合格者	31	820	181	194	1,641	156	3,023	118	27	30	570	47	2,147	517	3,456	6,479	
	合格率	43.7	25.2	37.0	39.4	29.6	34.3	29.3	25.4	39.7	26.1	27.8	36.4	34.1	53.6	34.2	31.7	
30代	申請者	346	4,297	1,283	1,382	6,898	1,344	15,550	748	184	212	3,217	280	7,510	1,478	13,629	29,179	28.1
	受験者	292	3,081	1,003	1,089	5,120	1,065	11,650	611	150	178	2,470	231	5,933	1,231	10,804	22,454	
	合格者	74	896	358	417	1,729	360	3,834	205	58	59	793	91	2,503	777	4,486	8,320	
	合格率	25.3	29.1	35.7	38.3	33.8	33.8	32.9	33.6	38.7	33.1	32.1	39.4	42.2	63.1	41.5	37.1	
40代	申請者	476	3,909	1,302	1,377	6,035	1,361	14,460	761	238	240	3,033	332	6,317	1,612	12,533	26,993	26.0
	受験者	418	2,803	1,036	1,077	4,617	1,079	11,030	624	200	211	2,367	282	4,933	1,401	10,018	21,048	
	合格者	102	777	363	430	1,531	385	3,588	202	60	85	814	104	2,127	899	4,291	7,879	
	合格率	24.4	27.7	35.0	39.9	33.2	35.7	32.5	32.4	30.0	40.3	34.4	36.9	43.1	64.2	42.8	37.4	
50代	申請者	326	1,420	564	582	2,533	564	5,989	465	159	184	2,221	249	3,240	824	7,342	13,331	12.8
	受験者	285	1,075	468	485	1,928	464	4,705	379	144	157	1,802	207	2,588	718	5,995	10,700	
	合格者	54	316	167	177	678	181	1,573	121	50	63	624	85	1,159	473	2,575	4,148	
	合格率	18.9	29.4	35.7	36.5	35.2	39.0	33.4	31.9	34.7	40.1	34.6	41.1	44.8	65.9	43.0	38.8	
60代	申請者	122	350	124	153	636	159	1,544	135	41	71	785	90	815	211	2,148	3,692	3.6
	受験者	101	278	113	123	502	133	1,250	109	38	65	655	73	655	182	1,777	3,027	
	合格者	20	117	39	60	190	45	471	42	18	26	293	33	337	129	878	1,349	
	合格率	19.8	42.1	34.5	48.8	37.8	33.8	37.7	38.5	47.4	40.0	44.7	45.2	51.5	70.9	49.4	44.6	
70代 以上	申請者	13	45	14	13	61	15	161	12	6	7	52	13	91	21	202	363	0.3
	受験者	11	41	12	13	52	14	143	9	6	7	44	12	65	19	162	305	
	合格者	1	4	3	4	17	4	33	6	1	1	13	5	21	15	62	95	
	合格率	9.1	9.8	25.0	30.8	32.7	28.6	23.1	66.7	16.7	14.3	29.5	41.7	32.3	78.9	38.3	31.1	
合 計	申請者	1,364	14,831	3,960	4,181	24,604	4,028	52,968	2,773	718	866	12,489	1,131	26,616	6,256	50,849	103,817	100
	受験者	1,178	10,675	3,127	3,286	18,484	3,215	39,965	2,250	609	741	9,800	939	21,194	5,383	40,916	80,881	
	合格者	282	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	16,369	29,106	
	合格率	23.9	27.5	35.6	39.0	32.4	35.2	31.9	31.4	35.3	35.8	32.4	39.1	40.0	58.7	40.0	36.0	

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施しています。受験申請者数は順調に増加し、平成31年3月17日に実施した第14回検定では、受験申請者が9,261人と、前年度と比べ294人増加しました。

■ 表 13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年 度	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第10回	平成26年度	7,151	6,771	3,270	48.3
第11回	平成27年度	7,858	7,328	2,826	38.6
第12回	平成28年度	8,333	7,813	4,556	58.3
第13回	平成29年度	8,967	8,447	4,001	47.4
第14回	平成30年度	9,261	8,752	4,297	49.1

# 平成30年度の免状作成等の状況について —免状部—

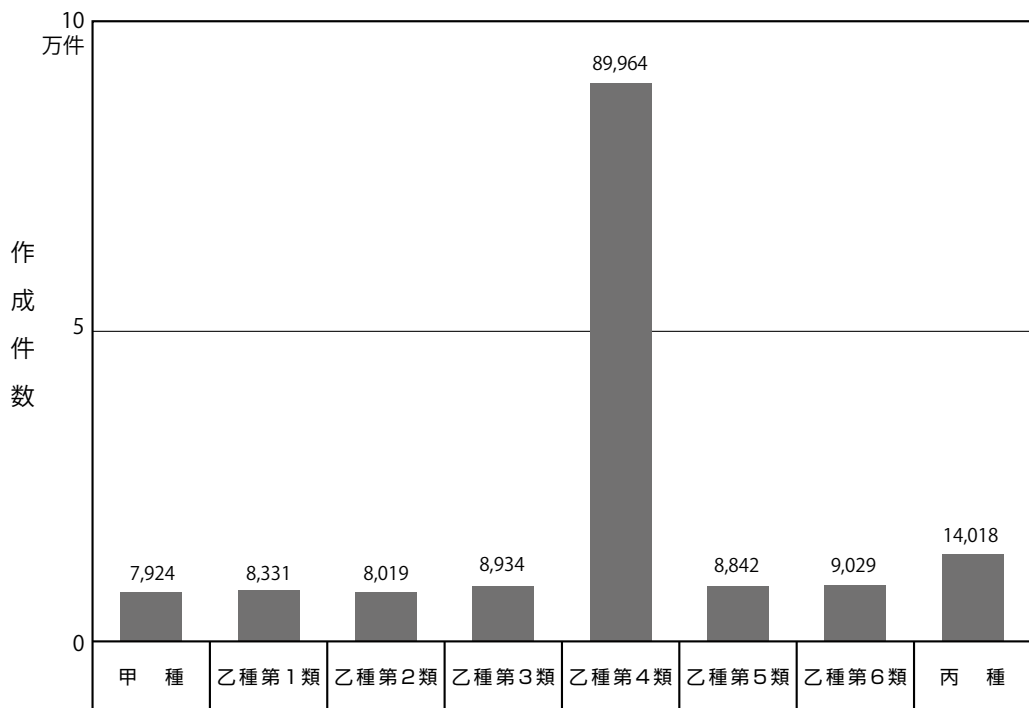
当センターが、平成30年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

## 1 新規免状作成状況

### (1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、平成29年度と比べて2.2%増の15万5千61件となっています。

■図1 平成30年度 危険物取扱者新規免状作成件数



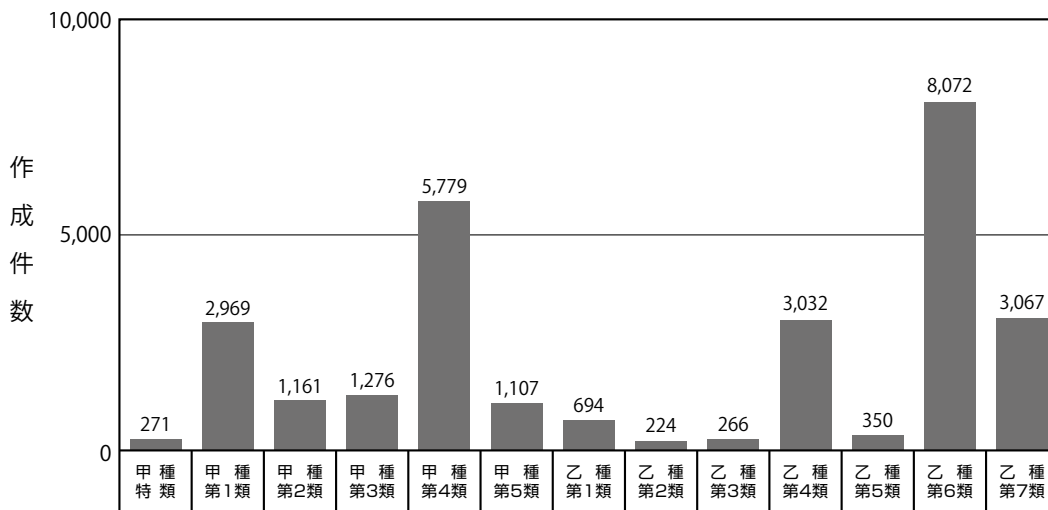
年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
平成29年度	8,063	8,375	8,036	9,047	84,068	9,379	9,248	15,452	151,668
平成30年度	7,924	8,331	8,019	8,934	89,964	8,842	9,029	14,018	155,061
増減率	-1.7%	-0.5%	-0.2%	-1.2%	7.0%	-5.7%	-2.4%	-9.3%	2.2%



(2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、平成29年度と比べて0.8%減の2万8千268件となっています。

■図2 平成30年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種						乙種							合計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
平成29年度	297	3,106	1,203	1,128	5,655	1,262	746	247	243	3,088	395	7,764	3,366	28,500
平成30年度	271	2,969	1,161	1,276	5,779	1,107	694	224	266	3,032	350	8,072	3,067	28,268
増減率	-8.8%	-4.4%	-3.5%	13.1%	2.2%	-12.3%	-7.0%	-9.3%	9.5%	-1.8%	-11.4%	4.0%	-8.9%	-0.8%

2 免状処理状況の推移

昭和63年度から平成30年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。過去10年間の推移をみると次のとおりです。

(1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成21年度の19万9千816件をピークに19万件台から14万件台で推移しています。平成30年度は、前年度に比べ2.2%増の15万5千61件となっています。

イ 消防設備士は、平成26年度の2万9千145件がピークに2万件台で推移しています。平成30年度は、前年度に比べ0.8%減の2万8千268件となっています。

(2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成23年度の13万7千460件をピークに減少傾向にありましたが、平成29年度から緩やかに増加に転じ、平成30年度は前年度に比べ1.5%増の10万4千995件となっています。

イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様に平成23年度の1万3千80件をピークに1万2千件台から1万1千件台で推移しています。平成30年度は、前年度に比べ3.3%増の1万1千857件となっています。

### (3) 本籍等の書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。平成30年度は、前年度に比べ0.8%増の1千664件となっています。

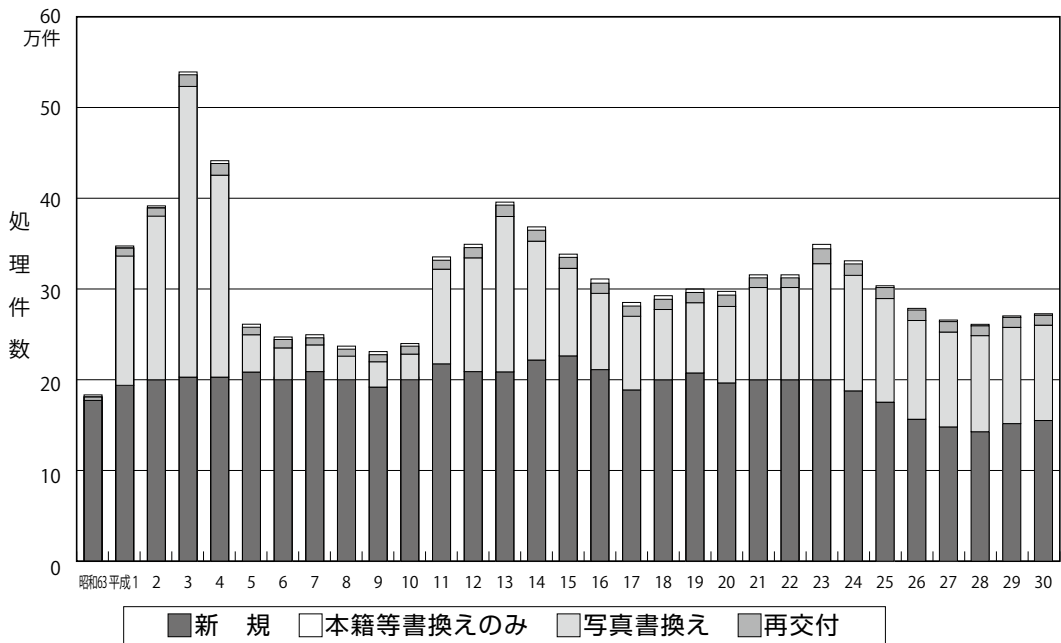
イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様の理由により前年度に比べ1%増の212件となっています。

### (4) 再交付

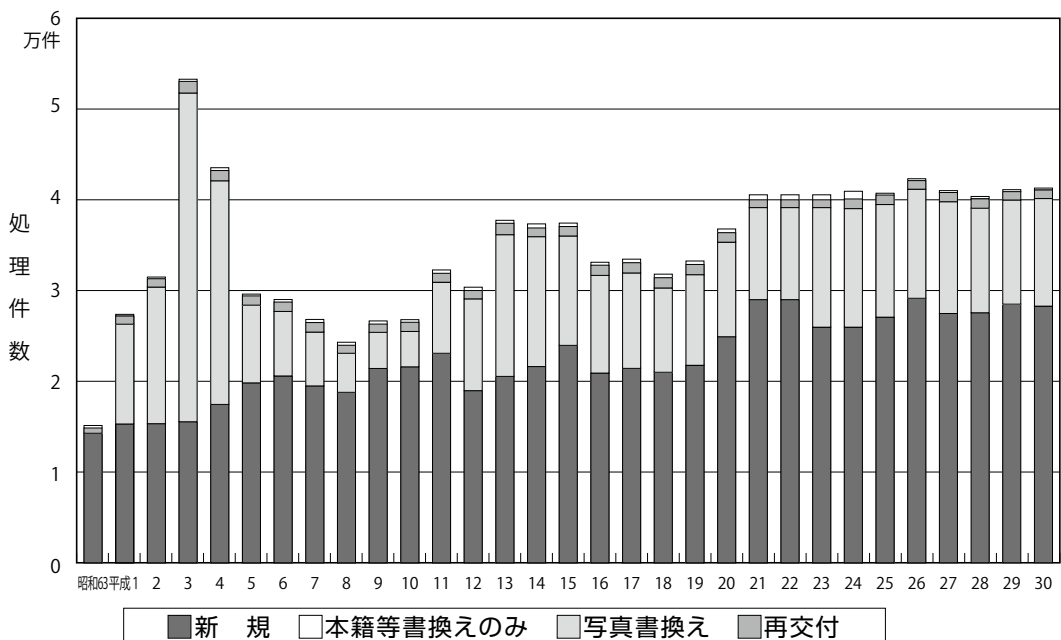
ア 危険物取扱者は、平成23年度の1万4千628件をピークに1万件台で推移しています。平成30年度は、前年度に比べ1.3%減の1万844件となっています。

イ 消防設備士は、1千件前後で推移しています。平成30年度は、前年度に比べ2.2%増の941件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移



■ 表 1 危険物取扱者免状処理状況の推移

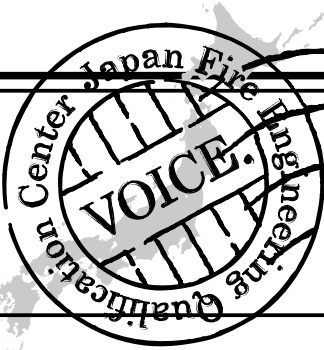
年度	合計	対前年増減率	免状作成件数						再交付	対前年増減率	本籍等の書換え	対前年増減率
			対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付				
昭和 63 年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	—	3,272	—	1,681	—
平成 1 年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	-26.9%
平成 2 年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成 3 年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成 4 年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	-30.5%	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%
平成 5 年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	208,727	2.8%	44,325	-80.1%	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%
平成 6 年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	-17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成 7 年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	-18.0%	7,953	-3.7%	2,570	11.6%
平成 8 年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	-12.2%	7,823	-1.6%	2,883	12.2%
平成 9 年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成 10 年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	-1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成 11 年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成 12 年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	-1.3%
平成 13 年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成 14 年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	-22.3%	12,396	3.4%	3,111	-0.9%
平成 15 年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	-26.5%	12,099	-2.4%	3,121	0.3%
平成 16 年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	-13.2%	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%
平成 17 年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	-3.8%	11,499	-1.0%	3,034	0.0%
平成 18 年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	-4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成 19 年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	-1.0%	3,259	1.9%
平成 20 年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成 21 年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%
平成 22 年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	8.0%	12,367	-1.5%	3,348	5.4%
平成 23 年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成 24 年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	-7.4%	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%
平成 25 年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	-10.3%	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%
平成 26 年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	-4.7%	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%
平成 27 年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	-3.9%	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%
平成 28 年度	258,059	-2.9%	256,330	-3.0%	142,716	-3.5%	102,883	-1.6%	10,731	-6.7%	1,729	0.2%
平成 29 年度	267,738	3.8%	266,087	3.8%	151,668	6.3%	103,434	0.5%	10,985	2.4%	1,651	-4.5%
平成 30 年度	272,564	1.8%	270,900	1.8%	155,061	2.2%	104,995	1.5%	10,844	-1.3%	1,664	0.8%

注) 平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

■ 表 2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計	対前年増減率	免状作成件数						再交付	対前年増減率	本籍等の書換え	対前年増減率
			対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付				
昭和 63 年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	—	535	—	235	—
平成 1 年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	-40.9%
平成 2 年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	-13.7%
平成 3 年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成 4 年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	-32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成 5 年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	-64.5%	953	-22.2%	175	-13.4%
平成 6 年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	-19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成 7 年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	-16.2%	1,075	0.1%	227	-3.0%
平成 8 年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	-27.6%	967	-10.0%	303	33.5%
平成 9 年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	-5.4%	959	-0.8%	279	-7.9%
平成 10 年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	-4.1%	950	-0.9%	297	6.5%
平成 11 年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成 12 年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	-12.2%
平成 13 年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成 14 年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	-8.9%	1,094	-9.6%	341	15.2%
平成 15 年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	-15.4%	1,138	4.0%	334	-2.1%
平成 16 年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	-10.1%	1,157	1.7%	292	-12.6%
平成 17 年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	-2.0%	1,126	-2.7%	315	7.9%
平成 18 年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	-12.2%	1,106	-1.8%	331	5.1%
平成 19 年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	-13.0%
平成 20 年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	-6.1%	290	0.7%
平成 21 年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成 22 年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	-8.0%
平成 23 年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成 24 年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	-0.1%	1,064	-12.7%	279	-15.2%
平成 25 年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	-5.0%	1,047	-1.6%	198	-29.0%
平成 26 年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	-3.2%	946	-9.6%	207	9.0%
平成 27 年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%
平成 28 年度	40,365	-1.6%	40,102	-1.7%	27,552	0.3%	11,517	-6.5%	1,033	1.8%	263	25.8%
平成 29 年度	41,107	1.8%	40,897	2.0%	28,500	3.4%	11,476	-0.4%	921	-10.8%	210	-20.2%
平成 30 年度	41,278	0.4%	41,062	0.4%	28,264	-0.8%	11,857	3.3%	941	2.2%	212	1.0%

注) 平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



# 支部の広場

## 長野県支部からお届け

### はじめに（長野県の概要）

長野県は日本の屋根と呼ばれていて、県内に諸山岳が重なり合い標高3,000m前後の高山が四方を囲んでいます。本県に源を発する河川は8水系あり天竜川、木曾川は太平洋に、千曲川、犀川は合流して信濃川となり日本海に、それぞれ注いでいます。これら諸川の間におよそ6地方に分かれて平地があり、その多くが盆地のため昼と夜の気温差が大きく、また、南北に長い県域と地形の複雑性から地域によって気候特性が様々です。

変化に富んだ地形や気候等自然環境の中で多様な信州産農産物が育まれ、米、リンゴ、ブドウ、レタス、キノコ等農業は県の主要産業となり、また、冬季オリンピックの開催地「NAGANO」は世界中に知られ、多くの外国人観光客が一年中を通して訪れています。

ここで、1998長野冬季オリンピックの開会式で日本選手団の入場行進の際に流れた、県歌「信濃の国」について紹介します。

「信濃の国」は、信濃教育会が長野師範学校の教諭に作成を依頼した唱歌で、明治32年浅井洌が作詞、同33年北村季晴が作曲しました。明治33年10月に行われた師範学校の運動会で女子部生徒の遊戯に使われたのが、初披露の場であるといわれています。その後師範学校の卒業生が県内の学校の教師となって生徒に教えたことにより、各地に広がり歌い継がれてきました。そして、昭和43年に長野県民のほとんどが歌えると言われる「信濃の国」が県歌として制定され、昨年、制定50周年を迎えたところです。

明治4年の廃藩置県により長野県と筑摩県となった後、松本市（中信）にあった筑摩県庁が火災で焼失した時に筑摩県は廃止となり長野県（北信）に吸収合併され、現在の長野県（信州）が誕生しました。こうした経緯のため、中・南信の住民は県庁所在地が遠くなり不便をきたし、折りにふれて移庁・分県問題を提起するようになりました。

そこで「信濃の国」が長野県の分裂を救ったエピソードを一つ。昭和23年に県庁舎の一部が焼失したことを発端に

北信と南信の対立が激しくなり、県議会が分県についての特別委員会を設置。審議の結果、分県案は委員会では賛成多数となり本会議へ。議決の日、傍聴席と議会の周囲から自然発生的に「信濃の国」の大合唱が始まり、「信濃は一つ」との思いがこみ上げ、分県は不成立となりました。

これからも長野県民の心の歌として未来へ歌い継いで行くことでしょう。

### 支部の状況

当支部は設立以来、県庁の敷地内にある庁舎に無償で借用し入居していましたが、昭和29年建築のとても古い建物で耐震化がされておらず退去要請もあったことから、平成28年4月に現在の建物に移転しました。県庁から徒歩5分と近く、6階建ての建物は古いですが内装は新しく、部屋の広さは倍以上となりとても快適な職場環境となっています。

職員は、平成30年度から副支部長の退職に伴い1名減となりましたが、支部長と職員2名、臨時職員1名の体制で、県民サービスが低下しない、受験機会を減らさないよう試験日程は従来を維持しています。日々の窓口や電話の対応、試験業務・免状業務等に職員一丸となって明るく楽しい職場の中で頑張っています。

### 試験業務の概要

長野県は県土が広く移動時間がかかるため、受験希望者が受験し易いよう複数の地域（北信、東信、南信、中信）に試験地を設け、一日一試験地として試験日が多くなるように設定しています。

試験監督員は、長野県職員OBを中心に試験地ごとに監督員候補者としてお願いし、7地域で合計130名の方々に登録しており、1年度に1回は試験監督員ができるよう工夫をお願いしています。

#### 1 危険物取扱者試験

一般試験は、年3回（6月、10月、2月）行い、長野市（北信）と松本市（中信）が年3日ずつ、上田市（東信）が年2日、伊那市と飯田市（南信）が1日ずつの計年10日試験を実施

しています。

また、高校生が受験し易いよう一般試験の試験地から離れた地域においては、高校生を対象とする特定試験を高校4校を会場に対象高校9校で実施しています。その他、専門学校1校、矯正施設2施設を加え合計7回の特定試験を実施しています。

受験申請者数は、平成26年度から7千人台となりキープしていましたが、平成29年度に500人以上減少し、平成30年度は1,000人以上減少してしまいました。

このうちの高校生も毎年度400人前後の減少が続き、かつ構成比では半分以上の割合であったものが、平成30年度は36.5%と過去最低を更新しています。(表1)

■表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
甲種	249	238	244	231	235
乙種	6,235	6,413	6,279	5,612	4,849
丙種	1,247	1,123	1,168	1,288	1,031
計(a)	7,731	7,774	7,691	7,131	6,115
うち高校生(b)	3,294	3,371	3,009	2,665	2,235
比率(%) b/a	42.6	43.4	39.1	37.4	36.5

## 2 消防設備士試験

一般試験は、8月と1～2月の年2回行い、長野市(北信)と松本市(中信)で2日ずつの計年4日実施しています。

特定試験は、矯正施設1施設のほか、平成29年度から消防学校の初任科受講中の消防職員全員を対象とした試験を消防学校で実施しています。(表2)

■表2 消防設備士試験受験申請者数の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
甲種	653	682	618	622	672
乙種	736	779	710	793	692
計	1,389	1,461	1,328	1,415	1,364

## ○ 免状業務の概要

免状業務の処理件数は、表3のとおりです。

危険物取扱者試験の受験者数は減少していますが、合格率が上がっていることから新規免状交付件数がここ数年増える傾向にあります。

写真書換え未了者への「お知らせはがき」を送付するお

知らせ事業については、平成30年度は2,789通発送し、704名が書き換えを行い25.2%の減少率でした。

各消防本部、県危険物安全協会及び県消防設備協会と連携し、書き換えについての会報への掲載や法定講習時に書換申請書の配布と指導を行ってもらっています。

■表3 免状交付状況の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
危険物取扱者	新規交付	2,993	2,649	2,727	2,812	2,830
	写真書換	2,432	2,327	2,016	1,925	2,014
	再交付	191	216	204	178	201
	本籍等書換	31	31	34	29	24
	計	5,647	5,223	4,981	4,944	5,069
消防設備士	新規交付	383	318	291	351	365
	写真書換	253	254	222	194	195
	再交付	14	22	13	7	15
	本籍等書換	4	3	3	6	1
	計	654	597	529	558	576
合計	6,301	5,820	5,510	5,502	5,645	

## ○ おわりに

受験者の減少に歯止めをかけるため、危険物取扱者試験ではこれまで午前乙種4類、午後甲種、乙種4類外、丙種を実施していましたが、今年度から乙種4類は午後も試験を行うようにして受験機会を増やしてみました。しかしながら、6月に行う第1回試験の乙種4類受験申請者は350人以上の減少となってしまい、受験者確保の効果はありませんでした。午後試験が定着するには時間がかかるかもしれませんが、これからも受験者確保に取り組んでいきたいと考えています。

今後も、本部及び各支部の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



## 危険物取扱者甲種合格への道

### 危険物取扱者資格を知るきっかけ

私が危険物取扱者資格試験を知ったのは、中学生のときの高校の説明会です。当時の私は、高校に入学したら何か新しいことにチャレンジしたいと思っていました。そんな折りに耳にしたのが危険物取扱者資格だったので。帰宅後、さっそく調べてみると、危険物取扱者資格は、身近にあるガソリンなどの燃料や可燃性の物質を取り扱うことができ、その需要は高いと書いてありました。これを読んで興味をもった私は、ぜひチャレンジしてみたいと思ったのです。

### 初めての資格試験

安城農林高校に入学して2ヶ月ほど経ったころ、担任の先生から「毒劇物取扱責任者資格の受験についての説明会があるので、興味のある人はぜひ参加してください。」と連絡がありました。この資格に興味をもった私は、説明会に参加してこの資格のことや試験の内容について説明を受け、チャレンジしてみたいという決意が固まったので受験することにしました。

受験を決意してすぐに近くの書店に受験対策用のテキストを買いに行きましたが、その中身をみて衝撃を受けました。まるで呪文のように、化学に関する内容や毒物及び劇物の性質、貯蔵、取扱い方法が書かれていたからです。1年生の授業では化学の授業がなかったので、中学レベル程度の化学の知識しかなかった私にとって、この内容を見た瞬間、「この内容が受験当日までに身に付くのだろうか?」と不安になりました。

テキストを購入後、しばらくはあまり学習をしていませんでしたが、8月後半の受験日のおよそ1ヶ月前、夏休み初日から本格的に学習を開始しました。私の勉強方法は、ひたすら問題集をくり返し解くというものです。初めの1・2回は全く分かりませんでしたので、問題の解説を理解できるまで読み、それでも理解できない問題



岡田 拓 おかだ ひろむ  
愛知県立安城農林高等学校  
農業科3年

は、兄の化学の教科書を借りて理解を深めました。すると、問題を解く回数を重ねるごとに正答率も上がるようになり、4回目では80%、5回目には90%まで上げることができるようになりました。家での学習に集中できないときは、図書館によく行きました。場所を変えるだけでもかなり気分転換となり、学習に集中できました。

そして試験当日、試験は午後でしたので、午前中に確認テストをし、昼食を早めに済ませて正午前に家を出ました。初めて行く会場でしたので、下調べはしたものの、道に迷わないか心配でしたが、迷うことなく出発から40分ほどで無事に会場にたどり着くことができました。その会場はとても大きく、廊下や受験する部屋も大変広くて、さらに受験者のほとんどが大人だったため、かなり緊張して動揺を隠せませんでした。その後の数十分は、緊張を解くために最終確認テストをしたり、トイレに行ったりして気持ちを落ち着かせました。いよいよ試験の説明が始まり、問題と解答用紙が配られ、試験官の合図で試験が始まりました。緊張で心臓をバクバクさせながら一つずつ問題を解いていきます。中には解答に悩む問題も数問ありましたが、ひと通り解き終えて、ひたすら試験終了まで見直しを行いました。初めての資格試験は、できたようなできなかったようなという感じで、不安感をもったまま合格発表までに約1ヶ月を過ごしました。

そして合格発表当日、家に帰ってすぐにスマートフォンで自分の受験番号がないか緊張しながら確認しました。確認していくと、自分の受験番号がありました。その時は、喜ぶよりも先に親に確認してもらい、間違いが

ないことを確かめて、初めて喜ぶことができました。また心境はうれしいというよりも合格できた安心感の方が大きかったです。

毒劇物取扱責任者資格の合格へのプロセスを述べましたが、これこそが私にとっての危険物取扱者甲種取得への原点なのです。この経験により、危険物取扱者資格の勉強方法の確立と自信となりました。

### 危険物取扱者乙種全類制覇

安城農林高校の農業・園芸科1年生では、危険物についての理解を深める授業があり、その学習達成度を図るため、危険物取扱者丙種の資格取得を目指しています。しかし、早く危険物取扱者乙種第4類の資格を取得したかった私は、担当の先生に頼みこみ、乙種第4類を受けさせてもらうことになりました。本格的な勉強は、試験日の2週間前から始めました。それまで丙種の内容を学んでいたこともあり、あまり苦労はしませんでした。毒劇物取扱者資格試験で確立した勉強方法で、問題集もしっかりやりこみ、かなり内容を理解することができました。そして試験を受け、多少の不安はあったものの、無事に合格することができました。

乙種第4類が無事取得できたので、次は乙種全類合格を目標とすることにしました。これまでと同じ勉強方法で頑張った甲斐もあり、2年生の秋には無事に乙種全類を取得することができました。

### 危険物取扱者甲種への挑戦

乙種全類を取得し、いよいよ危険物取扱者甲種への挑戦です。そうと決まったらさっそく受験申込みを行い、テキストを探します。甲種合格は難しいと聞いていたので、いろいろ調べて、評価の高かった分厚い問題集を2冊購入し、これまでと同じように、それをひたすら解きました。さすが甲種ということもあり、これまで解いたことのあるような問題であってもそのレベルは格段に上がっており、「やはり甲種はむずかしいな。」とあらためて思いました。時にはやめてしまおうかと思うこともありましたが、くり返し解いていくことで次第にできるよ

うになっていきました。しかし、試験日前日に問題集の確認テストをやってみたところ、合格基準ギリギリの点数で、とても不安になりました。当日はそんな不安感を抱えたまま、会場に向かい受験しました。いざ試験が始まると、これまで問題集で解いてきた問題と同じような問題がたくさんあり、不安な気持ちもなくなり、思っていたよりもスムーズに問題を解くことができました。そしていよいよ合格発表。無事に合格することができ、本当にうれしかったです。

### 取得後の感想

これまでの経験から、資格試験というものはいかに効率よく勉強できるかが大きな鍵だと学びました。満点を目指すのではなく、合格点をどうやってとるかを考えるのが大切で、時には分からないことは分からないと割り切ることも大事だと思いました。そして何よりも自分に合った勉強方法を見つけ、努力を惜しまないことが重要だと実感しました。

### 最後に

資格試験を通して、大変多くのことを学びました。今までの経験があったからこそ今の自分があることを実感しています。努力することや諦めないことの大切さ、そして日々の積み重ねが重要だということが分かりました。高校生のうちにこの体験をすることができ、自分を大きく成長させることができたと思っています。この経験を生かして今後の人生がより豊かになるように努めていきたいと思っています。

# 消防庁の通知・通達等

## ◆危険物の規制に関する規則及び消防法施行規則の一部を改正する省令等の公布について(通知)

消防予第3号、消防危第2号 令和元年5月7日

消防庁予防課長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長 あて

消防庁危険物保安室長

### 要旨

「危険物の規制に関する規則及び消防法施行規則の一部を改正する省令」(令和元年総務省令第3号)及び「平成二十六年消防庁告示第九号の一部を改正する件」(令和元年消防庁告示第1号)が本日公布されました。

今回の改正は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行に伴い、危険物の規制に関する規則(昭和34年総理府令第55号)及び消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)並びに消防法施行規則第四十四条の二第二項第二号及び別記様式第九号備考三の規定に基づく自主表示対象機械器具等に係る技術上の規格に適合するものであることを確認した試験結果に係る様式並びに試験の方法及び試験に使用した設備に関する事項(平成26年消防庁告示第9号)に定める様式について、所要の規定の整備を行うものです。

貴職におかれては、下記事項に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県消防防災主管部長におかれては、貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対しても、この旨周知されるようお願いいたします。

### 記

#### 第一 改正内容に関する事項

元号を改める政令の施行に伴い、以下の法令に定める様式について、所要の規定の整備を行うこと。

- ・危険物の規制に関する規則
- ・消防法施行規則
- ・平成二十六年消防庁告示第九号

#### 第二 施行期日に関する事項

改正省令及び告示は、公布の日から施行すること。

別添 「危険物の規制に関する規則及び消防法施行規則の一部を改正する省令」(令和元年総務省令第3号)及び「平成二十六年消防庁告示第九号の一部を改正する件」(令和元年消防庁告示第1号) 略

## ◆「消防設備士免状に関する事務処理要領等について」の一部改正について

消防予第7号 令和元年5月7日

各都道府県消防防災主管部長 あて

消防庁予防課長

### 要旨

消防設備士免状に関する事務処理については、「消防設備士免状に関する事務処理要領等について」（平成12年3月24日付け消防予第66号。以下「66号通知」という。）により通知しているところですが、このたび、66号通知の一部を下記のとおり改正しました。なお、本改正は、元号が令和に改められたことによるものです。

貴職におかれては、下記事項に御留意いただくとともに、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知されるようお願いします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

### 記

1 66号通知「記第1 免状に関する事務処理要領」の一部改正別添のとおり改正する。

2 その他

(1) 上記の改正部分の運用は、令和元年5月7日から施行する。

(2) 改正新旧を参考として添付する。

3 運用上の留意事項

従前の申請書等については、改元日以降の年の表示が「平成」とされていたとしても、有効なものとするが、必要に応じ、「平成」表示を取消し線等により訂正して用いること。

別添 「消防設備士免状に関する事務処理要領等について」 略

## ◆平成30年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について(通知)

消防危第32号 令和元年5月27日

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長 あて

消防庁危険物保安室長

### 要旨

今般、「平成30年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、平成30年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

## 記

### 1 平成30年中の危険物に係る事故の主なポイント

#### (1) 火災事故

##### ア 火災事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数は11件増加し、206件となっており、そのうち重大事故は12件発生している。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、製造所、給油取扱所の順となっており、この3施設で全体の約94%（193件/206件）を占めている。

また、1万施設当たりの火災事故の発生件数（以下、「火災事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

##### イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、一般取扱所が最も多く8件、次いで製造所が3件、移動タンク貯蔵所が1件の順となっている。

##### ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、収束時間指標が重大事故要件に達しているものが9件、影響範囲指標が2件、人的評価指標が2件となっている。（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）

##### エ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火原因物質となる火災事故が約50%（102件/206件）を占めている。このうち、第4類の危険物によるものが約95%（97件/102件）を占めており、品名別にみると、第4類第1石油類が約49%（48件/97件）と最も高い割合を占めている。

##### オ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、人的要因が約53%（110件/206件）を占めている。このうち、維持管理不十分によるものが約43%（47件/110件）を占めている。主な着火原因では、高温表面熱が約18%（37件/206件）と最も高く、次いで静電気火花が約16%（32件/206件）の割合を占めている。

#### (2) 流出事故

##### ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は34件増加して、403件となっており、そのうち重大事故は70件発生している。

施設別の流出事故件数については、一般取扱所、給油取扱所、屋外タンク貯蔵所の順となっており、この3施設で約60%（241件/403件）を占めている。

1万施設当たりの流出事故の発生件数（以下、「流出事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

##### イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、移動タンク貯蔵所が最も多く27件、次いで屋外タンク貯蔵所が18件、一般取扱所が9件の順となっている。

ウ 重大事故における深刻度評価指標  
深刻度評価指標別に各重大事故をみると、流出範囲指標が重大事故要件に達しているものが55件、流出量指標が16件、人的評価指標は0件であった。（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）



## エ 流出した危険物

流出事故において流出した危険物の種類は、第4類の危険物が約99%（398件/403件）を占めており、このうち第4類第2石油類が約38%（152件/398件）と最も高い割合を占めている。

## オ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約53%（215件/403件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約60%（130件/215件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所、地下タンク貯蔵所の順となっている。

また、約37%（150件/403件）を占める人的要因のうち、操作確認不十分によるものが約39%（58件/150件）を占めている。

## 2 指導上の留意事項

火災事故の発生原因としては、人的要因である維持管理不十分や操作確認不十分、操作未実施が多く、着火原因では、高温表面熱や静電気火花、過熱着火が多い。次に、流出事故の発生原因としては、物的要因である腐食疲労等劣化が最も多く、次いで人的要因である操作確認不十分によるものが多い。

火災事故及び流出事故のいずれの場合においても、人的要因に対する対策としては予防規程等を活用した保安教育の徹底、物的要因の対策としては施設及び設備等の経年劣化も踏まえた点検、維持管理の徹底について、立入検査等を活用し指導されたい。

また、危険物に係る業界団体、消防関係機関等により策定された「令和元年度（平成31年度）危険物等事故防止対策実施要領」と別添1及び別添2の統計データを参考とし、都道府県別の事故発生状況や危険物施設の態様を踏まえた事故防止対策を実施していくことが必要である。特に、平成30年中も含め近年の事故件数や事故発生率が大きく増減したものについては、その原因や再発防止について検討されたい。

## 3 風水害発生時の留意事項

梅雨期や台風期を迎えるに当たり、「風水害発生時における危険物保安上の留意事項及び危険物施設の被害状況調査について」（平成30年9月27日消防危第179号）に示す風水害発生時における危険物保安上の留意事項を再確認の上、事業所の実情に応じて必要な対策を講ずるよう、指導されたい。

## 4 平成30年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の代表的な事例について

平成30年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の中から、重大事故を中心に10件の事故事例について、事故概要、事業所における事故を踏まえた対策と効果、及び事故事例から得られる事故防止対策上のポイント等を別添3のとおりとりまとめたことから、事業所における従業員への保安教育等に活用されたい。

別添1「平成30年中の危険物に係る事故の概要」 略

別添2「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」 略

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。  
<http://www.fdma.go.jp/>

# 業務報告

## 4月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	686	262	38.2
乙種第1類	321	206	64.2
乙種第2類	257	188	73.2
乙種第3類	286	206	72.0
乙種第4類	4,711	2,151	45.7
乙種第5類	287	202	70.4
乙種第6類	346	202	58.4
乙種計	6,208	3,155	50.8
丙種	217	136	62.7
合計	7,111	3,553	50.0

危険物取扱者試験実施支部等  
北海道、青森、秋田、東京、愛知、大阪

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	200	90	45.0
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	200	90	45.0
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	201	109	54.2
乙種第7類	20	8	40.0
乙種計	221	117	52.9
合計	421	207	49.2

消防設備士試験実施支部等  
東京、石川

## 4月中の免状作成状況

(単位:件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	11,637	11,637	4,434	4,434	16,071	16,071
本籍等の書換え	135	135	12	12	147	147
写真書換え	7,885	7,885	735	735	8,620	8,620
再交付	923	923	68	68	991	991
計	20,580	20,580	5,249	5,249	25,829	25,829

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

## 5月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	382	150	39.3
乙種第1類	351	271	77.2
乙種第2類	346	239	69.1
乙種第3類	482	362	75.1
乙種第4類	5,331	2,428	45.5
乙種第5類	437	311	71.2
乙種第6類	364	271	74.5
乙種計	7,311	3,882	53.1
丙種	477	295	61.8
合計	8,170	4,327	53.0

#### □危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、埼玉、東京、神奈川、石川、岐阜、滋賀、京都、兵庫、奈良、佐賀、和歌山、鳥取、広島、山口、香川、福岡、長崎

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	105	27	25.7
甲種第1類	416	125	30.0
甲種第2類	228	111	48.7
甲種第3類	195	90	46.2
甲種第4類	387	119	30.7
甲種第5類	235	106	45.1
甲種計	1,566	578	36.9
乙種第1類	66	28	42.4
乙種第2類	16	8	50.0
乙種第3類	19	5	26.3
乙種第4類	180	84	46.7
乙種第5類	28	14	50.0
乙種第6類	516	212	41.1
乙種第7類	105	73	69.5
乙種計	930	424	45.6
合計	2,496	1,002	40.1

#### □消防設備士試験実施支部等

山形、東京、愛知、徳島

## 5月中の免状作成状況

(単位:件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	4,382	16,019	1,415	5,849	5,797	21,868
本籍等の書換え	156	291	19	31	175	322
写真書換え	9,701	17,586	760	1,615	10,461	19,201
再交付	902	1,825	83	151	985	1,976
計	15,141	35,721	2,277	7,646	17,418	43,367

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日								
北海道	9月1日	日	7月22日	7月29日	7月25日	8月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月6日	日	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
青森	8月31日	土	7月16日	7月30日	7月19日	8月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月1日	日	7月16日	7月30日	7月19日	8月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月2日	土	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月3日	日	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月9日	土	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月10日	日	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月16日	土	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月17日	日	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岩手	9月28日	土	8月13日	8月20日	8月16日	8月23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月5日	土	8月13日	8月20日	8月16日	8月23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月12日	土	8月13日	8月20日	8月16日	8月23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
宮城	9月14日	土	7月29日	8月6日	8月1日	8月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
秋田	10月6日	日	8月20日	9月2日	8月23日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月13日	日	8月20日	9月2日	8月23日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山形	10月12日	土	8月30日	9月9日	9月2日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月26日	土	9月14日	9月24日	9月17日	9月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月9日	土	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福島	10月12日	土	8月18日	8月27日	8月21日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月19日	土	8月18日	8月27日	8月21日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月2日	土	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
茨城	11月9日	土	9月8日	9月17日	9月11日	9月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月28日	土	7月16日	7月29日	7月19日	8月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月19日	土	8月26日	9月6日	8月29日	9月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
栃木	11月10日	日	9月6日	9月17日	9月9日	9月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
埼玉	9月29日	日	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
千葉	11月17日	日	9月10日	9月27日	9月13日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月24日	日	9月10日	9月27日	9月13日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月30日	土	9月10日	9月27日	9月13日	9月30日					乙4			
	12月1日	日	9月10日	9月27日	9月13日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
東京	9月14日	土	7月22日	8月2日	7月25日	8月5日	甲種							
	9月21日	土	7月26日	8月6日	7月29日	8月9日					乙4			
	9月29日	日	8月5日	8月16日	8月8日	8月19日					乙4			
	10月5日	土	8月12日	8月23日	8月15日	8月26日					乙4			
	10月12日	土	8月19日	8月30日	8月22日	9月2日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月20日	日	8月26日	9月6日	8月29日	9月9日					乙4			
	10月26日	土	8月30日	9月10日	9月2日	9月13日					乙4			
	11月1日	金	9月6日	9月17日	9月9日	9月20日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	
	11月4日	月	9月6日	9月17日	9月9日	9月20日					乙4			
神奈川	9月8日	日	7月19日	7月29日	7月22日	8月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月1日	日	7月16日	7月29日	7月19日	8月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月5日	土	8月19日	8月30日	8月22日	9月2日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月6日	日	8月19日	8月30日	8月22日	9月2日					乙4			
	10月20日	日	8月19日	8月30日	8月22日	9月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月26日	土	8月19日	8月30日	8月22日	9月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月17日	日	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月24日	日	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月1日	日	9月17日	9月27日	9月20日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福井	10月20日	日	9月2日	9月9日	9月5日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月27日	日	9月2日	9月9日	9月5日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山梨	10月20日	日	8月30日	9月6日	9月2日	9月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月26日	土	8月30日	9月6日	9月2日	9月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長野	10月6日	日	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月13日	日	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月20日	日	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月27日	日	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岐阜	11月10日	日	9月15日	9月27日	9月18日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月17日	日	9月15日	9月27日	9月18日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
静岡	11月2日	土	8月23日	9月2日	8月26日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月3日	日	8月23日	9月2日	8月26日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
愛知	10月6日	日	8月31日	9月9日	9月3日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月13日	日	8月31日	9月9日	9月3日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

三重	11月 9日	土	9月 7日	9月17日	9月10日	9月20日					Z4						丙種
	11月16日	土	9月 7日	9月17日	9月10日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	11月17日	日	9月 7日	9月17日	9月10日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
滋賀	10月20日	日	8月26日	9月 8日	8月29日	9月11日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
京都	10月27日	日	8月23日	9月 2日	8月26日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	11月 3日	日	8月23日	9月 2日	8月26日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
大阪	10月 6日	日	8月26日	9月 2日	8月29日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
兵庫	9月 8日	日	7月29日	8月 6日	8月 1日	8月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	9月15日	日	7月29日	8月 6日	8月 1日	8月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
和歌山	10月13日	日	8月24日	9月 2日	8月27日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	10月20日	日	8月24日	9月 2日	8月27日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
鳥取	10月20日	日	8月16日	8月30日	8月19日	9月 2日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	10月27日	日	8月16日	8月30日	8月19日	9月 2日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
島根	11月 3日	日	8月23日	9月 6日	8月26日	9月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	11月10日	日	8月23日	9月 6日	8月26日	9月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
岡山	10月27日	日	8月26日	9月 6日	8月29日	9月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
広島	11月10日	日	9月17日	9月24日	9月20日	9月27日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
山口	11月23日	土	9月 3日	9月17日	9月 6日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	11月24日	日	9月 3日	9月17日	9月 6日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
徳島	11月23日	土	9月10日	9月27日	9月13日	9月30日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
愛媛	10月27日	日	8月27日	9月 6日	8月30日	9月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
高知	10月27日	日	9月 6日	9月17日	9月 9日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	11月 3日	日	9月 6日	9月17日	9月 9日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
福岡	10月27日	日	8月24日	9月 6日	8月27日	9月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
	11月 3日	日	8月24日	9月 6日	8月27日	9月 9日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
佐賀	11月24日	日	9月14日	9月24日	9月17日	9月27日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
長崎	11月23日	土	9月 6日	9月17日	9月 9日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
熊本	11月 3日	日	9月 2日	9月 9日	9月 5日	9月12日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
大分	11月24日	日	9月14日	9月27日	9月17日	9月30日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
宮崎	11月17日	日	9月 6日	9月17日	9月 9日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種
鹿児島	11月10日	日	9月15日	9月27日	9月18日	9月30日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6				丙種

消防設備士試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）																			
支 部 名	試験日		受付期間				甲種					乙種							
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
	月 日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日													
北海道	9月 1日	日	7月22日	7月29日	7月25日	8月 1日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
宮 城	10月 6日	日	8月19日	8月27日	8月22日	8月30日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
秋 田	11月 3日	日	9月10日	9月27日	9月13日	9月30日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
山 形	9月 7日	土	7月26日	8月 5日	7月29日	8月 8日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
埼 玉	9月 8日	日	7月23日	8月 2日	7月26日	8月 5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
東 京	9月23日	月	7月26日	8月 6日	7月29日	8月 9日		甲1											
	9月28日	土	8月 5日	8月16日	8月 8日	8月19日					甲4								
	10月 6日	日	8月12日	8月23日	8月15日	8月26日												Z6	
	10月19日	土	8月26日	9月 6日	8月29日	9月 9日							Z1	Z2	Z3		Z5		
	10月27日	日	8月30日	9月10日	9月 2日	9月13日		甲1											
	11月 2日	土	9月 6日	9月17日	9月 9日	9月20日	特類		甲2	甲3		甲5							
	11月10日	日	9月16日	9月27日	9月19日	9月30日					甲4								
11月24日	日	9月27日	10月 8日	9月30日	10月11日											Z4		Z7	
新 潟	10月13日	日	8月20日	9月 3日	8月23日	9月 6日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
石 川	11月 4日	月	9月 2日	9月 9日	9月 5日	9月12日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
奈 良	9月15日	日	8月 3日	8月11日	8月 6日	8月14日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
鳥 取	11月24日	日	9月10日	9月24日	9月13日	9月27日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
徳 島	10月14日	月	8月23日	9月 3日	8月26日	9月 6日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
沖 縄	11月 3日	日	9月23日	9月30日	9月26日	10月 3日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7

Voice...

## 編集後記

2019 July

5月下旬に猛暑日になるなど季節外れの日もありましたが、6月上旬に梅雨入りし、海の日も過ぎて本格的に暑い日が続く季節となりました。

この時季、どうしても冷たいものが欲しくなります。冷たいものの取りすぎに注意して、十分な栄養と睡眠、適度な運動で体調管理に気を付けましょう。

今月号は、平成30年度の事業報告、試験の実施状況、免状の作成状況等を業務情報として特集しました。お役に立てていただければ幸いです。



都道府県  
後援：消防庁

自分を、  
超えてゆけ。

免状  
10年更新を  
守る。

ラグビー日本代表キャプテン  
リーチ・マイケル

危険物  
取扱者



消防  
設備士

写真の書換え期限が10年を経過している方は  
速やかに更新手続きを行ってください。

消防試験研究センターだより

**Voice...**

vol.373 令和元年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部)/ FAX.03(5511)2751

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <http://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>